

令和8年度当初予算

【概要】

令和8年2月18日

松 江 市

目 次

令和8年度	当初予算概要	3
1	令和8年度 会計別総括表	10
2	令和8年度 一般会計歳入予算	11
3	令和8年度 一般会計歳出予算	13
4	令和8年度 一般会計予算性質別経費分析表	14
5	令和8年度 一般会計歳入の概要	16
	(1)財源の構成	16
	(2)一般財源等内訳	16
	(3)市税の内訳	17
	(4)目的税及び電源立地地域対策交付金等の対象事業	17
6	財政調整基金・減債基金残高の推移	18
7	地方債元金償還額と発行額の推移	19
8	令和8年度 主要事業	20
	物価高騰対策	23
	Ⅰ 市民生活を支援	23
	Ⅱ 地域の事業者を支援	27
	松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」 5つの柱	28
	Ⅲ しごとづくり	28
	Ⅳ ひとづくり	37
	Ⅴ つながりづくり	43
	Ⅵ どだいづくり	47
	Ⅶ なかまづくり	65

【令和8年度 当初予算概要】

1 地方財政対策

国の地方財政対策

地方財政対策の規模

102兆4,400億円程度（令和7年度比：+5.5%程度）

■地方の一般財源総額を確保

一般財源総額は、水準超経費^{※1}を除く交付団体ベースで、令和7年度を3.7兆円上回る67.5兆円を確保（令和8年度に創設する地域未来基金費と臨時財政対策償還基金費の計1.2兆円を含む）

■地方財政の健全化

財源不足が縮小したことから、国と地方との折半対象財源不足^{※2}は発生せず、臨時財政対策債は令和7年度に引き続き新規発行なし

○地方財政対策の規模（通常収支分^{※3}） … 102兆4,400億円程度（令和7年度比：+5.5%程度）

○一般財源総額（水準超経費^{※1}除く） … 67兆5,078億円程度（令和7年度比：+5.9%程度）

○地方交付税 … 20兆1,848億円（令和7年度比：+6.5%）

- ＜特徴＞
- ・地方創生推進費 … 1兆円（令和7年度同額）
 - ・地域社会再生事業費 … 4,200億円（令和7年度同額）
 - ・給与改善費 … 4,000億円（令和7年度比：+2,000億円）
 - ・物価高への対応（自治体のサービス・施設管理の委託料、道路・河川の維持補修費等） … 5,850億円を増額
 - ・地域の元気創造事業費に「価格転嫁分」を創設 … 1,000億円程度（令和7年度比：皆増）
- 財源不足額（折半対象財源不足なし） … 1兆254億円（令和7年度比：▲6.2%）

（※1）水準超経費：普通交付税不交付団体の基準財政収入が基準財政需要を超過する額

（※2）折半対象財源不足：地方財政対策において、不足する財源については特例加算（国）と臨時財政対策債（地方）により折半

（※3）通常収支分：地方財政対策では、平成24年度から「東日本大震災分」が創設され、既存分である「通常収支分」と2つに区分

【令和8年度 当初予算概要】

2 本市の当初予算編成

本市の当初予算編成

当初予算編成の考え方

- 島根県内の経済動向について、個人消費は持ち直しが続いており、投資傾向の一部に弱い動きがみられるものの、全体としては横ばい傾向
- 令和7年度は、物価高騰により厳しい経済環境に置かれている生活者・事業者の支援や、大雨・地震災害の復旧対応などに対して、112億円余りの補正予算を編成し迅速に事業を実施
- 令和8年度においても、地域経済の動向と市民生活への影響などを注視し、地方創生、防災・減災、国土強靱化などの取組みをさらに進める方針
- 令和8年度の当初予算は、本市の喫緊の課題に対応すべく、国の総合経済対策関連予算にも呼応し、令和7年度補正予算と合わせて切れ目なく事業を実施できるよう編成
- 歳入面では、市税及び国から交付される地方交付税・交付金など合わせた一般財源総額の増加を見込んだうえで、不足する財源は財政調整基金の取崩しなどで対応
- 歳出面では、物価高騰に応じつつ、デジタル化による業務効率化も図りながら、人件費・扶助費など義務的経費や一定規模の普通建設事業費を確保するとともに、限りある財源を松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」の「5つの柱」に沿った施策に重点的に配分

【令和8年度 当初予算概要】

3 予算の規模

(1) 一般会計予算総額 1,193億9,100万円（令和7年度（1,129億9,000万円）比：+5.7%）

○令和8年度当初予算のポイント

- ・国の総合経済対策に呼応した物価高騰対策を実施
- ・松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」の「5つの柱」に沿った施策に重点的に配分
- ・過去最大の当初予算 【主な要因】
 - ・物価高への対応
 - ・官公需における適切な価格転嫁
 - ・ガス事業の民間譲渡に伴う経費の計上

○一般財源総額 62,836,934千円（令和7年度（60,348,768千円）比：+4.1%）（金額単位：千円）

	令和8年度当初 ①	令和7年度当初 ②	差引増減 ③=①-②	増減率 ③/②
市税（※1）	35,553,212	30,050,497	5,502,715	+18.3%
地方譲与税	760,899	772,983	▲12,084	▲1.6%
法人事業税交付金	557,752	519,207	38,545	+7.4%
地方消費税交付金	5,784,418	5,144,315	640,103	+12.4%
地方特例交付金（※2）	279,021	183,714	95,307	51.9%
地方交付税（※3）	19,245,064	23,175,690	▲3,930,626	▲17.0%
減収補填債（※4）	50,000	0	50,000	皆増
その他	606,568	502,362	104,206	+20.7%

（※1）主な増加要因は、島根原子力発電所2号機再稼働に伴う固定資産税の増、個人市民税の増

（※2）地方揮発油税の当分の間税率廃止、自動車税・軽自動車税の環境性能割の廃止による増（+116,371千円）

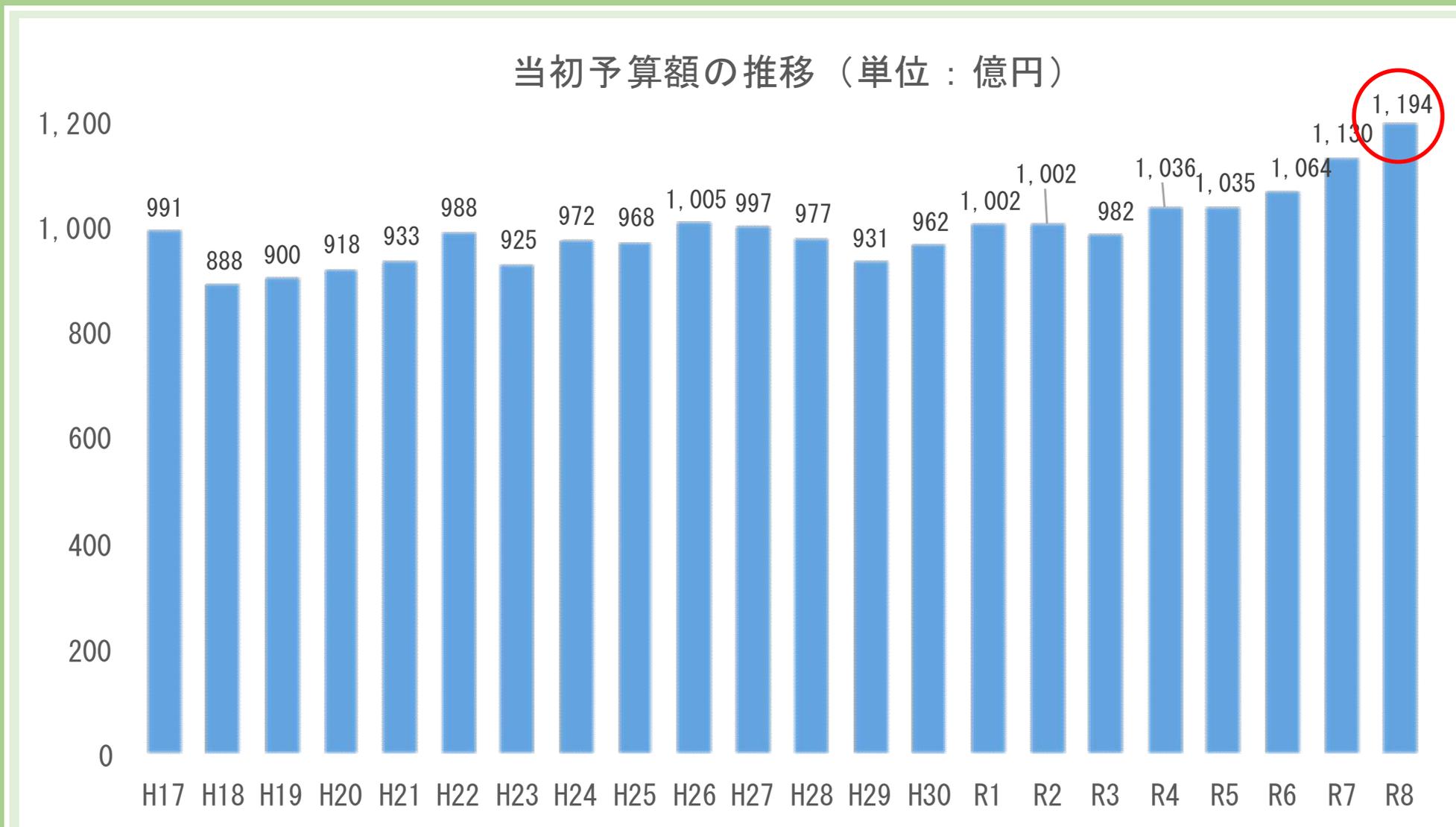
（※3）主な減少要因は、※1による基準財政収入額の増

（※4）市民税法人税割にかかる国と本市の見込差額分を発行

【令和8年度 当初予算概要】

3 予算の規模

(1) 一般会計予算総額



【令和8年度 当初予算概要】

3 予算の規模

(2) 全会計 2,079億5,743万円（令和7年度（2,035億3,416万円）比：+2.2%）

（単位：千円）

会計名	令和8年度当初 ①	令和7年度当初 ②	差引増減（千円） ③=①-②	増減率 ③/②
一般会計	119,391,000	112,990,000	6,401,000	5.7%
特別会計（8会計）	47,806,332	48,403,114	▲596,782	▲1.2%
公営企業会計（4会計）	40,760,099	42,141,049	▲1,380,950	▲3.3%
計	207,957,431	203,534,163	4,423,268	2.2%

■一般会計（詳細はP14・P15）

- ・義務的経費：人件費・公債費の増加により令和7年度比2,151,957千円の増（同+3.7%）
人件費（同+8.0%）… 給与改定による正規職員・会計年度任用職員給与費の増、
定年退職者の発生年度による退職手当の増
公債費（同+12.1%）… ガス事業会計債務償還金の皆増、金利上昇による償還利子の増
- ・消費的経費：物件費（同+13.3%）、補助費等（同+2.8%）、維持補修費（同▲6.7%）
- ・投資的経費：普通建設事業費 令和7年度比2,173,930千円の減（同▲14.5%）

■公営企業会計

- ・ガス事業会計廃止により令和8年度の公営企業会計は4会計に

【令和8年度 当初予算概要】

3 予算の規模

(2) 全会計

■特別会計（主なもの）

○国民健康保険事業

- ・ 県から示される事業費納付金を納付するとともに、適切な保険料を賦課し安定的に会計を運営
- ・ 人間ドック自己負担額の軽減や特定健康診査、生活習慣病の発症予防・重症化予防事業の実施により、健康の保持・増進を推進

○後期高齢者医療保険事業

- ・ 「団塊の世代」の加入による被保険者数・医療費の増加に対応し、安定的に会計を運営

○介護保険事業

- ・ 「松江市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画(令和6~8年度)」の基本方針である「健康づくりと介護予防の推進（健康寿命の延伸）」「多様なニーズに対応した介護サービスの提供」「認知症施策の推進」「介護人材の確保」に基づき、各事業を展開

○企業団地事業

- ・ （仮称）中尾地区企業団地について、令和9年中の分譲開始を目指し、造成工事に向けた詳細設計・埋蔵文化財調査を実施

【令和8年度 当初予算概要】

3 予算の規模

(2) 全会計

■公営企業会計

○水道事業・下水道事業

- ・「第1次上下水道事業経営計画」に基づく、健全な水循環の実現と地域防災力の強化のため、施設・設備の耐震化、雨水排水対策を推進
- ・安定した事業運営と水道インフラ維持のため、水道料金を改定（令和8年10月）

○交通事業

- ・「松江地区乗合バス事業共同運行計画 ACTION PLAN2026」に基づき一部路線で共同運行を開始
- ・安定した事業運営と公共交通サービス維持のため、30年ぶりにバス運賃を改定（令和8年4月）

○病院事業

- ・診療報酬改定への対応や、人件費・物価高騰による経費増嵩を反映
- ・地域医療機関との連携を強化

※ガス事業

- ・令和7年度末をもって廃止

1 令和8年度会計別総括表

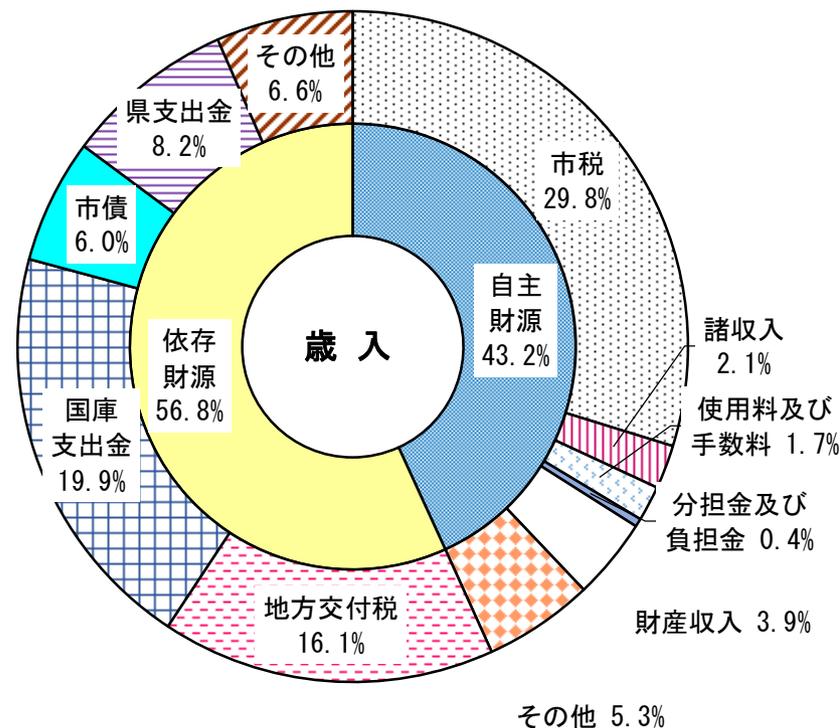
(単位 千円、%)

会 計 名		令和8年度 当初予算額	令和7年度 当初予算額	比較増減	
				金 額	率
一 般 会 計		119,391,000	112,990,000	6,401,000	5.7
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	17,927,218	18,148,528	▲ 221,310	▲ 1.2
	宍道国民健康保険診療施設事業	127,723	161,278	▲ 33,555	▲ 20.8
	後期高齢者医療保険事業	6,816,618	6,166,339	650,279	10.5
	介 護 保 険 事 業	22,657,846	22,369,336	288,510	1.3
	企 業 団 地 事 業	137,993	1,385,173	▲ 1,247,180	▲ 90.0
	公 園 墓 地 事 業	11,933	13,550	▲ 1,617	▲ 11.9
	鹿島町恵曇・講武・御津・佐太 財 産 区	2,583	2,257	326	14.4
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	124,418	156,653	▲ 32,235	▲ 20.6
	特別会計の合計	47,806,332	48,403,114	▲ 596,782	▲ 1.2
公 営 企 業 会 計	水 道 事 業	9,994,541	9,901,617	92,924	0.9
	下 水 道 事 業	14,345,940	14,283,836	62,104	0.4
	ガ ス 事 業	0	2,453,269	▲ 2,453,269	皆減
	交 通 事 業	1,645,701	1,568,681	77,020	4.9
	病 院 事 業	14,773,917	13,933,646	840,271	6.0
	公営企業会計の合計	40,760,099	42,141,049	▲ 1,380,950	▲ 3.3
全 会 計 の 計		207,957,431	203,534,163	4,423,268	2.2

2 令和8年度一般会計歳入予算 - 1

(単位 千円、%)

科 目	令和8年度当初		令和7年度当初		比較増減	
	予算額	構成比率	予算額	構成比率	金額	率
1 市 税	35,553,212	29.8	30,050,497	26.6	5,502,715	18.3
2 地 方 譲 与 税	760,899	0.6	772,983	0.7	▲ 12,084	▲ 1.6
3 利 子 割 交 付 金	64,819	0.1	36,806	0.0	28,013	76.1
4 配 当 割 交 付 金	213,558	0.2	140,753	0.1	72,805	51.7
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	262,435	0.2	216,667	0.2	45,768	21.1
6 法 人 事 業 税 交 付 金	557,752	0.5	519,207	0.5	38,545	7.4
7 地 方 消 費 税 交 付 金	5,784,418	4.8	5,144,315	4.6	640,103	12.4
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	8,174	0.0	7,903	0.0	271	3.4
9 環 境 性 能 割 交 付 金	10,594	0.0	50,760	0.0	▲ 40,166	▲ 79.1
10 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	16,352	0.0	16,351	0.0	1	0.0
11 地 方 特 例 交 付 金	279,021	0.2	183,714	0.2	95,307	51.9
12 地 方 交 付 税	19,245,064	16.1	23,175,690	20.5	▲ 3,930,626	▲ 17.0
13 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	30,636	0.0	33,122	0.0	▲ 2,486	▲ 7.5
14 分 担 金 及 び 負 担 金	526,412	0.4	545,144	0.5	▲ 18,732	▲ 3.4
15 使 用 料 及 び 手 数 料	1,997,461	1.7	2,014,750	1.8	▲ 17,289	▲ 0.9
16 国 庫 支 出 金	23,755,305	19.9	23,709,339	21.0	45,966	0.2
うち電源立地地域対策交付金等	2,336,404	2.0	2,569,414	2.3	▲ 233,010	▲ 9.1
17 県 支 出 金	9,745,953	8.2	9,519,848	8.4	226,105	2.4
18 財 産 収 入	4,630,538	3.9	338,791	0.3	4,291,747	1,266.8
19 寄 附 金	731,001	0.6	631,000	0.6	100,001	15.8
20 繰 入 金	5,554,727	4.7	4,867,618	4.3	687,109	14.1
うち財政調整基金	1,768,912	1.5	1,892,076	1.7	▲ 123,164	▲ 6.5
21 繰 越 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
22 諸 収 入	2,511,668	2.1	2,173,141	1.9	338,527	15.6
23 市 債	7,151,000	6.0	8,841,600	7.8	▲ 1,690,600	▲ 19.1
合 計	119,391,000	100.0	112,990,000	100.0	6,401,000	5.7



2 令和8年度一般会計歳入予算 - 2

(1) 市税 35,553,212千円 (令和7年度 (30,050,497千円) 比 : +5,502,715千円 / +18.3%)

○個人市民税 : 給与所得の増加により増

・個人市民税 11,288,892千円 (令和7年度 (10,769,862千円) 比 : +4.8%)

○固定資産税 : 原発2号機再稼働の影響を見込むことにより増

・固定資産税 18,189,602千円 (令和7年度 (13,454,942千円) 比 : +35.2%)

○宿泊税 : 通年化により増

・宿泊税 303,600千円 (令和7年度 (0円) 比 : 皆増)

(2) 地方交付税 19,245,064千円 (令和7年度 (23,175,690千円) 比 : ▲3,930,626千円 / ▲17.0%)

○普通交付税 : 固定資産税等の増額見込みに伴う基準財政収入額の増加により減

・普通交付税 16,945,064千円 (令和7年度 (20,995,690千円) 比 : ▲19.3%)

・特別交付税 2,300,000千円 (令和7年度 (2,180,000千円) 比 : +5.5%)

(3) 財産収入 4,630,538千円 (令和7年度 (338,791千円) 比 : +4,291,747千円 / +1,266.8%)

○ガス事業財産売却収入 : ガス事業の民間譲渡により皆増

・令和8年度ガス事業財産売却収入 4,287,948千円 (令和7年度 (0円) 比 : 皆増)

(4) 繰入金 5,554,727千円 (令和7年度 (4,867,618千円) 比 : +687,109千円 / +14.1%)

○ふるさと松江だんだん基金繰入金 : 総合体育館改修整備事業の増加により増

・ふるさと松江だんだん基金繰入金 2,307,034千円 (令和7年度 (427,064千円) 比 : +440.2%)

○財政調整基金繰入金 : 物価高騰等に対応しつつも、市税をはじめとした一般財源総額の増加により減

・財政調整基金繰入金 1,768,912千円 (令和7年度 (1,892,076千円) 比 : ▲6.5%)

(参考) 財政調整基金・減債基金残高 (見込) 合計 令和7年度末 4,142,737千円 令和8年度末 5,300,723千円

○庁舎建設基金繰入金 : 新庁舎第2期建設工事完了等により減

・庁舎建設基金繰入金 352,327千円 (令和7年度 (1,776,401千円) 比 : ▲80.2%)

(5) 市債 7,151,000千円 (令和7年度 (8,841,600千円) 比 : ▲1,690,600千円 / ▲19.1%)

○建設事業債 7,101,000千円 : 新庁舎第2期建設工事完了等により減 (令和7年度 (8,841,600千円) 比 : ▲19.7%)

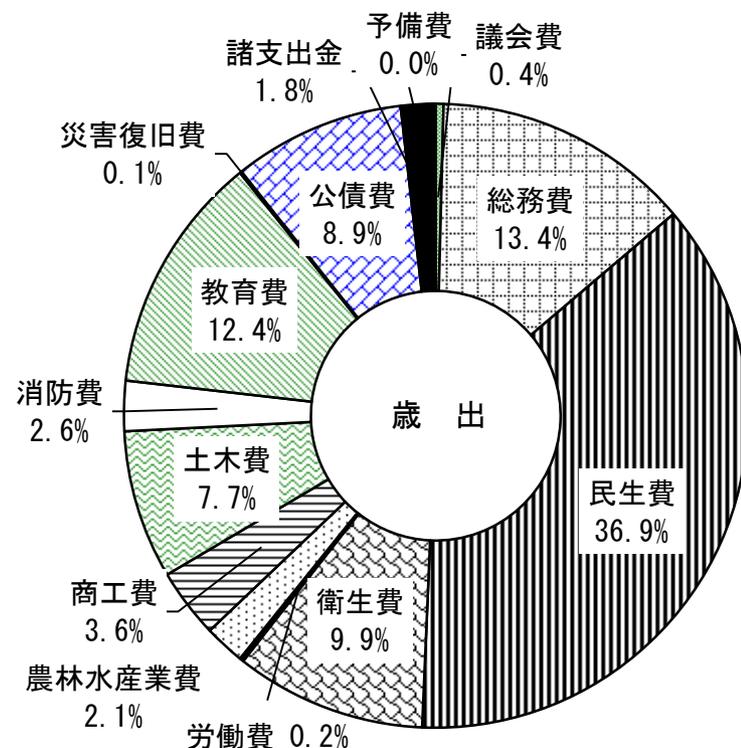
○減収補填債 50,000千円 : 市民税法人割等の見込額により皆増 (令和7年度 (0円) 比 : 皆増)

(参考) 市債依存度 6.0% (令和7年度 : 7.8%)

3 令和8年度一般会計歳出予算

(単位 千円、%)

科 目	令和8年度当初		令和7年度当初		比較増減	
	予算額	構成比率	予算額	構成比率	金額	率
1 議 会 費	510,339	0.4	491,888	0.4	18,451	3.8
2 総 務 費	16,043,807	13.4	16,016,024	14.2	27,783	0.2
3 民 生 費	44,066,601	36.9	43,566,852	38.6	499,749	1.1
4 衛 生 費	11,755,045	9.9	12,349,079	10.9	▲ 594,034	▲ 4.8
5 労 働 費	194,961	0.2	166,686	0.2	28,275	17.0
6 農 林 水 産 業 費	2,501,377	2.1	2,847,819	2.5	▲ 346,442	▲ 12.2
7 商 工 費	4,266,252	3.6	2,756,485	2.5	1,509,767	54.8
8 土 木 費	9,207,174	7.7	9,295,765	8.2	▲ 88,591	▲ 1.0
9 消 防 費	3,041,269	2.6	3,067,778	2.7	▲ 26,509	▲ 0.9
10 教 育 費	14,826,450	12.4	11,095,852	9.8	3,730,598	33.6
11 災 害 復 旧 費	94,600	0.1	40,000	0.0	54,600	136.5
12 公 債 費	10,677,936	8.9	10,872,223	9.6	▲ 194,287	▲ 1.8
13 諸 支 出 金	2,155,189	1.8	373,549	0.3	1,781,640	476.9
14 予 備 費	50,000	0.0	50,000	0.1	0	0.0
合 計	119,391,000	100.0	112,990,000	100.0	6,401,000	5.7

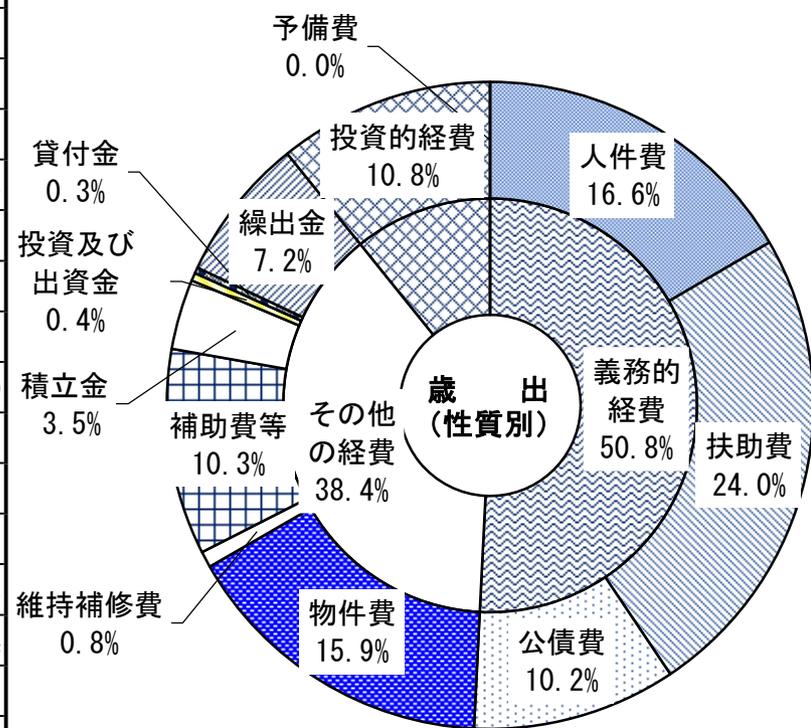


※ガス事業清算に伴う債務の繰上償還分は「13諸支出金」に含む

4 令和8年度一般会計予算性質別経費分析表 - 1

(単位 千円、%)

区 分	令和8年度当初		令和7年度当初		比較増減	
	予算額	構成比率	予算額	構成比率	金額	率
1 人 件 費	19,836,068	16.6	18,367,663	16.2	1,468,405	8.0
2 物 件 費	18,973,429	15.9	16,752,820	14.8	2,220,609	13.3
3 維 持 補 修 費	909,573	0.8	975,218	0.9	▲ 65,645	▲ 6.7
4 扶 助 費	28,698,455	24.0	29,335,504	26.0	▲ 637,049	▲ 2.2
5 補 助 費 等	12,346,215	10.3	12,015,408	10.6	330,807	2.8
6 公 債 費	12,192,824	10.2	10,872,223	9.6	1,320,601	12.1
7 積 立 金	4,186,440	3.5	548,645	0.5	3,637,795	663.1
8 投 資 及 び 出 資 金	418,852	0.4	461,853	0.4	▲ 43,001	▲ 9.3
9 貸 付 金	310,369	0.3	310,369	0.3	0	0.0
10 繰 出 金	8,588,816	7.2	8,301,008	7.3	287,808	3.5
11 投 資 的 経 費	12,879,959	10.8	14,999,289	13.3	▲ 2,119,330	▲ 14.1
普通建設事業費	12,785,359	10.7	14,959,289	13.3	▲ 2,173,930	▲ 14.5
(1) 補助事業費	3,936,198	3.3	4,135,742	3.7	▲ 199,544	▲ 4.8
(2) 単独事業費	8,574,072	7.2	10,506,799	9.3	▲ 1,932,727	▲ 18.4
(3) 県営事業負担金	275,089	0.2	316,748	0.3	▲ 41,659	▲ 13.2
災害復旧事業費	94,600	0.1	40,000	0.0	54,600	136.5
12 予 備 費	50,000	0.0	50,000	0.1	0	0.0
合 計	119,391,000	100.0	112,990,000	100.0	6,401,000	5.7



【義務的経費＝人件費＋扶助費＋公債費】

義務的経費	60,727,347	50.8	58,575,390	51.8	2,151,957	3.7
-------	------------	------	------------	------	-----------	-----

4 令和8年度一般会計予算性質別経費分析表 - 2

(1) 人件費 19,836,068千円 (令和7年度 (18,367,663千円) 比: +1,468,405千円 / +8.0%)

○正規職員・会計年度任用職員給与費等: 給与改定による増

・正規職員給与費等 14,347,489千円 (令和7年度 (13,452,808千円) 比: +6.7%) (職員数: 令和7年度1,794人→令和8年度1,799人)

・会計年度任用職員給与費等 3,809,676千円 (令和7年度 (3,454,823千円) 比: +10.3%) (職員数: 令和7年度1,267人→令和8年度1,417人)

○退職手当: 定年年齢の段階的な引上げの影響による増

・退職手当 833,707千円 (令和7年度 (574,825千円) 比: +45.0%) (令和7年度26人→令和8年度 (見込) 39人)

(2) 物件費 18,973,429千円 (令和7年度 (16,752,820千円) 比: +2,220,609千円 / +13.3%)

○物価高への対応・官公需における適切な価格転嫁による増

・生活応援おまっちょお買物券配布事業費 (物価等高騰対策事業) 1,200,000千円 (令和7年度 (0円) 比: 皆増)

・委託料の適切な価格転嫁 (指定管理料・施設管理運営委託費) 5,776,568千円 (令和7年度 (5,307,088千円) 比: +8.8%)

○システム標準化への対応: 12業務が標準準拠システムへ移行することによる増

・システム標準化関連事業費 746,917千円 (令和7年度 (231,698千円) 比: +222.4%)

(3) 公債費 12,192,824千円 (令和7年度 (10,872,223千円) 比: +1,320,601千円 / +12.1%)

○ガス事業の民間譲渡に伴う繰上償還: ガス事業会計からの承継債務の繰上償還による増

・ガス事業会計債務償還金 1,514,888千円 (令和7年度 (0円) 比: 皆増)

(4) 積立金 4,186,440千円 (令和7年度 (548,645千円) 比: +3,637,795千円 / +663.1%)

○ガス事業民間譲渡の清算後剰余金 (約29億円) を基金に積み立てること等による増

・財政調整基金積立金 2,642,569千円 (令和7年度 (20,264千円) 比: +12,940.7%)

・職員退職積立基金積立金 325,046千円 (令和7年度 (2千円))

○普通交付税のうち令和8年度に創設する臨時財政対策債償還基金費を、国の方針に基づき減債基金に積み立てることによる増

・減債基金積立金 611,869千円 (令和7年度 (2,017千円) 比: +30,235.6%)

(5) 投資的経費 12,879,959千円 (令和7年度 (14,999,289千円) 比: ▲2,119,330千円 / ▲14.1%)

○新庁舎建設事業費: 新庁舎第2期建設工事完了による減

・新庁舎建設事業費 1,118,976千円 (令和7年度 (4,409,740千円) 比: ▲74.6%)

→新庁舎建設の影響を控除すると、投資的経費として令和7年度比+11.1%を確保

○松江市総合体育館改修整備管理運営事業費: 工事の本格化による増

・松江市総合体育館改修整備管理運営事業費 2,104,041千円 (令和7年度 (0円) 比: 皆増)

(参考) 普通建設事業費の令和8年度当初予算+令和7年度2月補正予算 (国の補正予算呼応分) との合計額 143.9億円

(令和7年度当初予算+令和6年度2月補正予算 (172.0億円) 比: ▲16.4%)

5 令和8年度一般会計歳入の概要 - 1

(1) 財源の構成

(単位 千円、%)

区 分	令和8年度当初		令和7年度当初		比較増減	
	予算額	構成比率	予算額	構成比率	金額	率
自主財源	51,505,020	43.2	40,620,942	36.0	10,884,078	26.8
市 税	35,553,212	29.8	30,050,497	26.6	5,502,715	18.3
分担金及び負担金	526,412	0.4	545,144	0.5	▲ 18,732	▲ 3.4
使用料及び手数料	1,997,461	1.7	2,014,750	1.8	▲ 17,289	▲ 0.9
財産収入	4,630,538	3.9	338,791	0.3	4,291,747	1266.8
寄 附 金	731,001	0.6	631,000	0.6	100,001	15.8
繰 入 金	5,554,727	4.7	4,867,618	4.3	687,109	14.1
繰 越 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
諸 収 入	2,511,668	2.1	2,173,141	1.9	338,527	15.6
依存財源	67,885,980	56.8	72,369,058	64.0	▲ 4,483,078	▲ 6.2
地方譲与税	760,899	0.6	772,983	0.7	▲ 12,084	▲ 1.6
利子割交付金	64,819	0.1	36,806	0.0	28,013	76.1
配当割交付金	213,558	0.2	140,753	0.1	72,805	51.7
株式等譲渡所得割交付金	262,435	0.2	216,667	0.2	45,768	21.1
法人事業税交付金	557,752	0.5	519,207	0.5	38,545	7.4
地方消費税交付金	5,784,418	4.8	5,144,315	4.6	640,103	12.4
ゴルフ場利用税交付金	8,174	0.0	7,903	0.0	271	3.4
環境性能割交付金	10,594	0.0	50,760	0.0	▲ 40,166	▲ 79.1
国有提供施設等所在市町村助成交付金	16,352	0.0	16,351	0.0	1	0.0
地方特例交付金	279,021	0.2	183,714	0.2	95,307	51.9
地方交付税	19,245,064	16.1	23,175,690	20.5	▲ 3,930,626	▲ 17.0
交通安全対策特別交付金	30,636	0.0	33,122	0.0	▲ 2,486	▲ 7.5
国庫支出金	23,755,305	19.9	23,709,339	21.0	45,966	0.2
県 支 出 金	9,745,953	8.2	9,519,848	8.4	226,105	2.4
市 債	7,151,000	6.0	8,841,600	7.8	▲ 1,690,600	▲ 19.1
合 計	119,391,000	100.0	112,990,000	100.0	6,401,000	5.7

(2) 一般財源等内訳

(単位 千円、%)

科 目	令和8年度当初		令和7年度当初		比較増減	
	予算額	構成比率	予算額	構成比率	金額	率
市 税	35,553,212	54.7	30,050,497	47.9	5,502,715	18.3
地方譲与税	760,899	1.2	772,983	1.2	▲ 12,084	▲ 1.6
利子割交付金	64,819	0.1	36,806	0.1	28,013	76.1
配当割交付金	213,558	0.3	140,753	0.2	72,805	51.7
株式等譲渡所得割交付金	262,435	0.4	216,667	0.4	45,768	21.1
法人事業税交付金	557,752	0.9	519,207	0.8	38,545	7.4
地方消費税交付金	5,784,418	8.9	5,144,315	8.2	640,103	12.4
ゴルフ場利用税交付金	8,174	0.0	7,903	0.0	271	3.4
環境性能割交付金	10,594	0.0	50,760	0.1	▲ 40,166	▲ 79.1
国有提供施設等所在市町村助成交付金	16,352	0.0	16,351	0.0	1	0.0
地方特例交付金	279,021	0.4	183,714	0.3	95,307	51.9
地方交付税	19,245,064	29.6	23,175,690	37.0	▲ 3,930,626	▲ 17.0
交通安全対策特別交付金	30,636	0.0	33,122	0.1	▲ 2,486	▲ 7.5
分担金及び負担金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
使用料及び手数料	78,133	0.1	74,943	0.1	3,190	4.3
国庫支出金	0	0.0	830	0.0	▲ 830	▲ 100.0
県 支 出 金	56,106	0.1	55,796	0.1	310	0.6
財産収入	145,530	0.2	162,725	0.3	▲ 17,195	▲ 10.6
寄 附 金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰 入 金	1,768,912	2.7	1,892,076	3.0	▲ 123,164	▲ 6.5
繰 越 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
諸 収 入	170,818	0.3	148,599	0.2	22,219	15.0
市 債	50,000	0.1	0	0.0	50,000	-
合 計	65,056,434	100.0	62,683,738	100.0	2,372,696	3.8

※令和8年度の「市債」は減収補填債が50,000千円（皆増）

5 令和8年度一般会計歳入の概要 - 2

(3) 市税の内訳

(単位 千円、%)

科 目	令和8年度当初		令和7年度当初		比較増減		
	予算額	構成比率	予算額	構成比率	金額	率	
市 民 税	13,908,939	39.1	13,368,398	44.5	540,541	4.0	
内 訳	個 人	11,288,892	31.7	10,769,862	35.8	519,030	4.8
	法 人	2,620,047	7.4	2,598,536	8.7	21,511	0.8
固 定 資 産 税	18,189,602	51.2	13,454,942	44.8	4,734,660	35.2	
軽 自 動 車 税	722,645	2.0	757,212	2.5	▲ 34,567	▲ 4.6	
内 訳	軽 自 動 車 税	712,342	2.0	0	0.0	712,342	-
	環 境 性 能 割	10,303	0.0	55,318	0.2	▲ 45,015	▲ 81.4
	種 別 割	0	0.0	701,894	2.3	▲ 701,894	▲ 100.0
市 た ば こ 税	1,097,183	3.1	1,152,631	3.8	▲ 55,448	▲ 4.8	
入 湯 税	115,920	0.3	115,130	0.4	790	0.7	
都 市 計 画 税	1,215,323	3.4	1,202,184	4.0	13,139	1.1	
宿 泊 税	303,600	0.9	0	0.0	303,600	-	
合 計	35,553,212	100.0	30,050,497	100.0	5,502,715	18.3	

(4) 目的税及び電源立地地域対策交付金等の対象事業

1 都市計画税 1,215,323千円

(主な事業) 下水道事業繰出金、揖屋馬潟線整備事業費

2 入湯税 115,920千円

(主な事業) 観光客受入事業、観光協会運営補助金、玉湯町観光施設管理運営費、観光振興事業等補助金

3 宿泊税 303,600千円

(主な事業) 宿泊税活用事業補助金、松江市観光振興基金積立金、小泉八雲・セツのドラマを生かして化ける松江推進事業費

4 森林環境譲与税 86,214千円

(主な事業) 各種補助事業(民有林拡大造林、木材有効利用、ペレットストーブ設置補助等)、森林・林業普及啓発活動、森林管理運営費

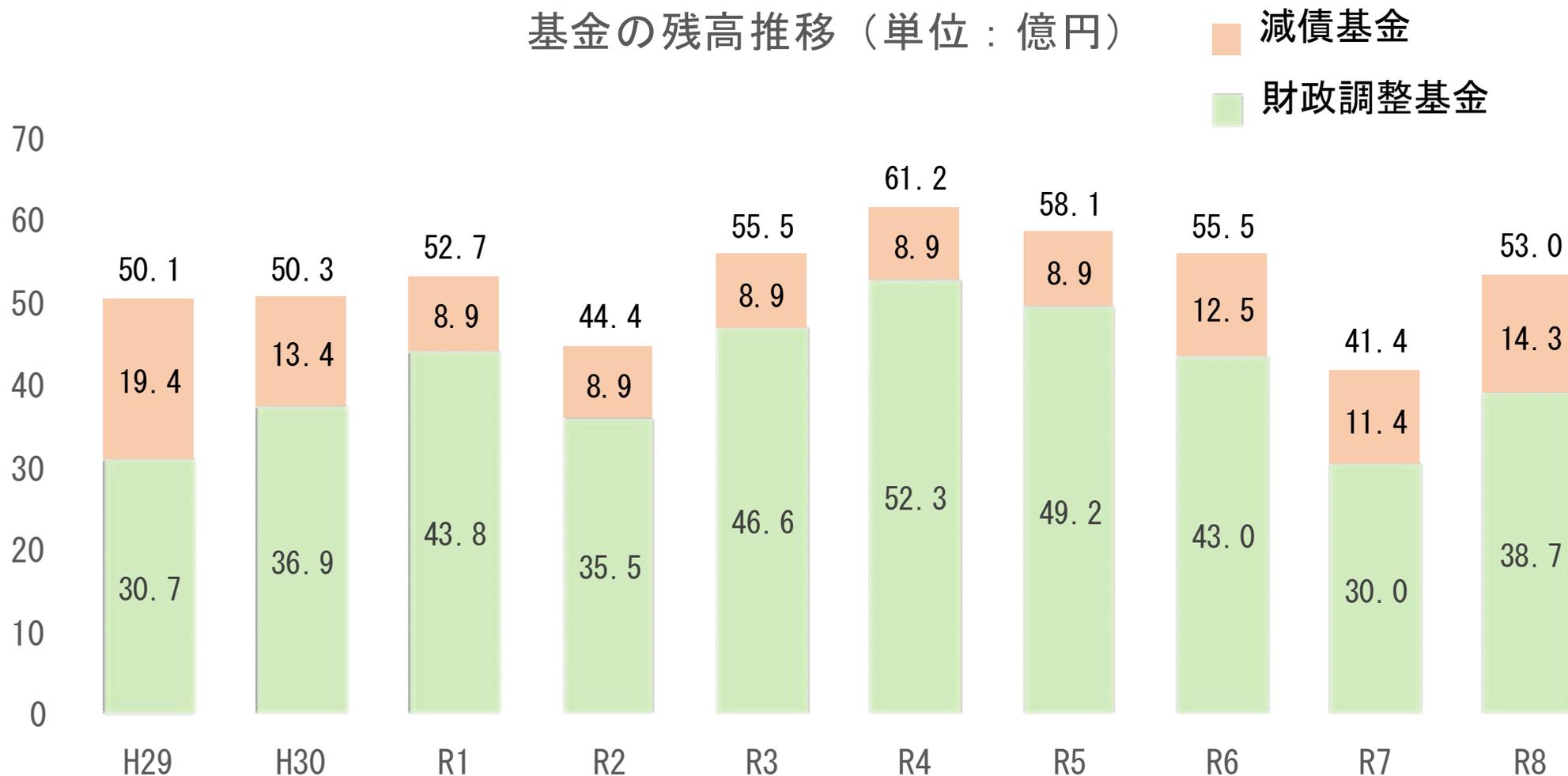
5 電源交付金等 2,336,404千円

(主な事業)

ハード事業：車両購入費補助金(交通局バス)、レイクラインバス車両整備事業費

ソフト事業：町内会自治会活動事業費、町内会自治会集会所整備事業補助金、防犯灯設置事業補助金、防犯灯電気代補助金

6 財政調整基金・減債基金残高の推移

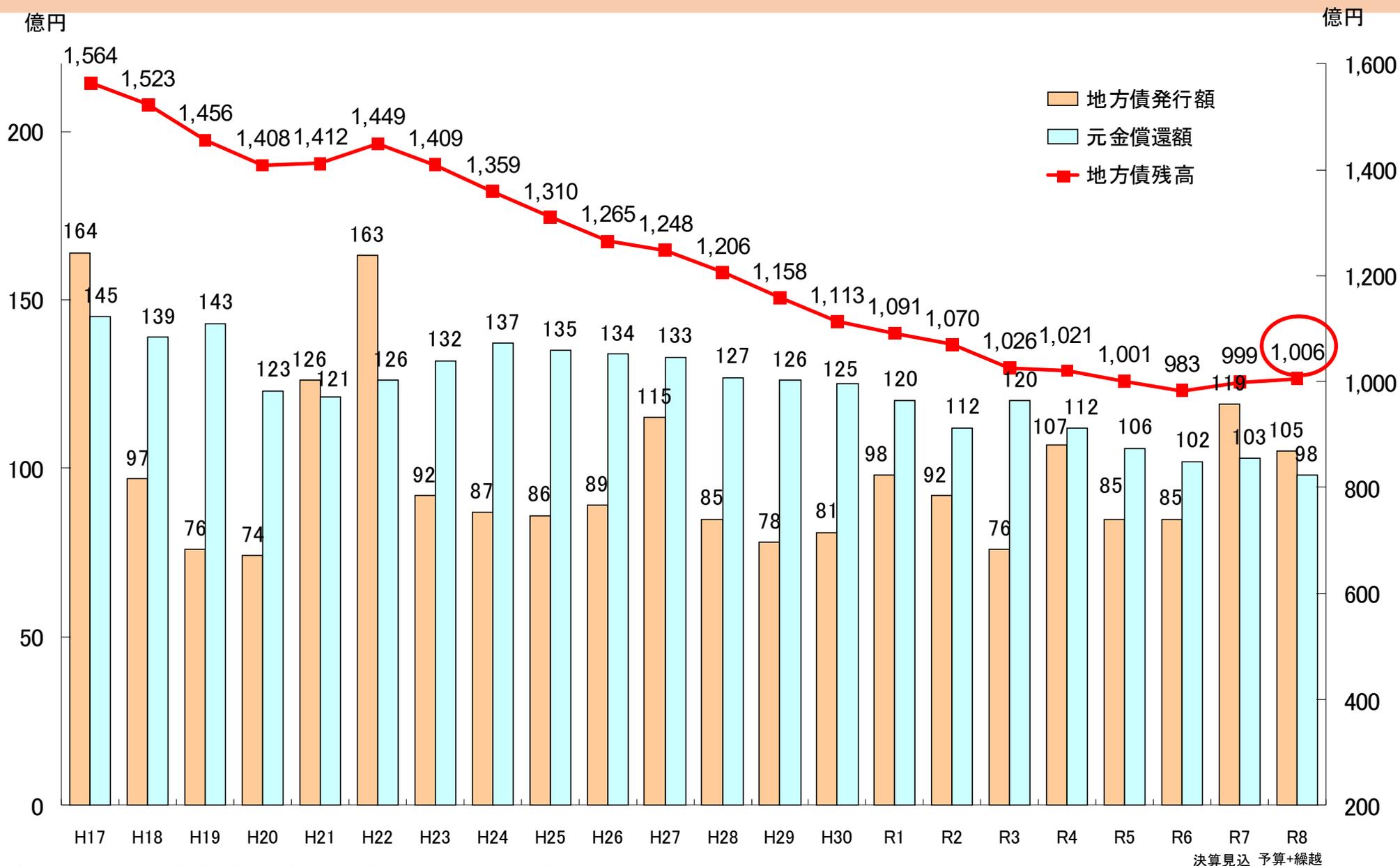


（注）R6までは決算ベース。R7・R8は予算ベース

R8の財政調整基金のうち、ガス事業民間譲渡の清算後剰余金が26.2億円を占める

R8の減債基金のうち、臨時財政対策債の償還原資となる臨時財政対策債償還基金費が6.2億円を占める

7 地方債元金償還額と発行額の推移



※ ガス事業会計からの承継債務（令和7年度末残高15.1億円）は除外

※ 表示単位（億円）以下の数値や、会計替え、償還免除等による残高の増減があるため、前年度残高－元金償還額＋地方債発行額＝当年度残高が成立しない場合がある

※ R7は決算見込み、R8は当初予算額とR7→R8繰越分の合計

8 令和8年度 主要事業

物価高騰対策（国の総合経済対策に呼応）

I 市民生活を支援

- ・ 食料品等物価高騰に対する支援
- ・ 学校給食の安定的な提供と家計負担の軽減
- ・ 保育所等での給食の安定的な提供と家計負担の軽減

II 地域の事業者を支援

- ・ スマート農業の推進

松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」5つの柱

III しごとづくり

〈産業振興、起業・創業〉

- ・ アメリカ誘客促進・スタートアップ連携の事業化促進
- ・ （仮称）中尾地区企業団地整備に向けた詳細設計・埋蔵文化財調査等

〈商店街活性化〉

- ・ 「職人商店街」の形成

〈農林水産業振興〉

- ・ 松江大根島牡丹の振興
- ・ 緊急銃猟と捕獲有害鳥獣減容化の検討

〈観光振興〉

- ・ 「MATSUE観光戦略プラン」の実現
- ・ 松江が誇る歴史と癒しのコンテンツのプロモーション強化
- ・ 小泉八雲・セツのドラマを活用した観光振興
- ・ 「松江」をテーマとするフランス観光誘客イベント『24時間小説』の開催支援

IV ひとづくり

〈ワーク・ライフ・バランス、子育て支援〉

- ・ 子育て支援事業における第2子以降の利用料負担の軽減

- ・ 産後ケア事業の推進
- ・ 乳幼児集団健康診査の利便性向上

8 令和8年度 主要事業

松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」5つの柱

Ⅳ ひとづくり（続）

〈教育〉

- ・ 中学校部活動の地域展開の推進
- ・ 電子図書館システム導入による読書バリアフリー対応と青少年への読書普及

〈共生社会・地域コミュニティ〉

- ・ 民生委員・児童委員への活動支援

Ⅴ つながりづくり

〈歴史・伝統・文化・芸術〉

- ・ ニューオーリンズ市との交流促進
- ・ 重要伝統的建造物群保存地区選定に向けた取り組み
- ・ 松江が誇る伝統芸能の祭典の開催

〈スポーツ〉

- ・ 島根かみあり国スポ・全スポ開催に向けた取り組み

Ⅵ どだいづくり

〈健康・医療〉

- ・ 補聴器購入費用にかかる助成制度の創設
- ・ 訪問診療に取り組む病院・診療所支援

〈自然・環境〉（続）

- ・ 安定的なごみ処理・CO₂削減のための施設改良
- ・ 公共施設の脱炭素化推進

〈自然・環境〉

- ・ 「国際文化観光都市・松江」の脱炭素化による魅力的なまちづくり

〈都市デザイン（水辺・公共交通）〉

- ・ 共同運行の開始にあわせた「共通通学定期」の新規導入・バス停看板の美装化
- ・ 交通結節点における乗り継ぎ環境の整備・バス停上屋等の機能向上

8 令和8年度 主要事業

松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」5つの柱

Ⅵ どだいづくり（続）

- 〈都市デザイン（水辺・公共交通）〉（続）
 - ・DX・GXによる持続可能な公共交通の基盤構築
- 〈都市デザイン（まちなみ・公園）〉
 - ・魅力的な、利用しやすい公園のための再整備
- 〈安心・安全、社会資本整備〉
 - ・新庁舎本館全体供用開始・第3期建設工事
 - ・安心・安全なまちづくりのための社会資本整備
 - ・消防車両の計画的な整備

〈安心・安全、社会資本整備〉（続）

- ・避難所に指定されている学校の屋内運動場への空調設備整備
- ・地域拠点となる公民館の整備

〈行財政改革、スマート自治体〉

- ・SDGs未来都市の創造
- ・住民情報系システムを国が定める標準仕様に準拠したシステムへ移行
- ・「快適便利な申請手続きを支える」プロジェクト
- ・松江市文書館と埋蔵文化財調査センターの一体的整備

Ⅶ なかまづくり

- 〈広域連携〉
 - ・中海・宍道湖・大山圏域市長会事業

災害復旧

- ・令和8年1月6日に発生した地震による被害への対策

令和7年度国の補正予算（第1号）

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（推奨事業メニュー）の状況（2月18日現在）

令和7年度交付限度額	①	20億6,492万円
予算計上済額(補正第9号まで)	②	4億8,797万円
今回予算計上額	③	14億4,159万円
差引(残額)	①-②-③	1億3,536万円

I 市民生活を支援

〈物価高騰対策〉

II 地域の事業者を支援

〈物価高騰対策〉

食料品等物価高騰に対する支援

新 ～生活応援 おまっちえ お買物券配布事業費～



事業費：12億円、財源：重点支援交付金

食料品やエネルギーの価格高騰等の影響を受けている市民生活を支援するため、すべての市民に一人あたり5,000円分の商品券（デジタル券・紙券）「生活応援 おまっちえ お買物券」を配布する。



【対象者】すべての市民の皆様

（令和8年5月1日時点の住民票登録者）

【配布方法】郵送（世帯ごと）

【利用期間】お手元に届いた日～令和8年9月30日

【スケジュール】

～3月末：事業者選定・決定

4月～：お買物券が利用できる市内店舗（事業者）募集

6月中旬：お買物券発送

スーパーや飲食店などで使えるよ！



スマホに読み込んでも使えるよ

I 市民生活を支援

〈物価高騰対策〉

学校給食の安定的な提供と家計負担の軽減

～学校給食費支援事業費、

新 学校給食費の抜本的な負担軽減事業費～

事業費：6億4,508万円

財源：重点支援交付金

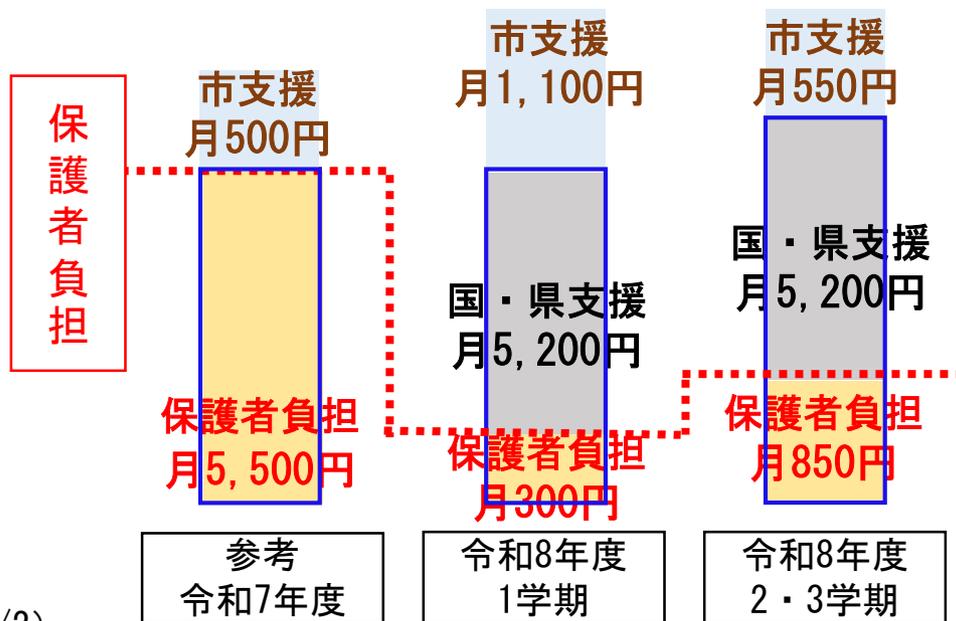
8,189万円、県5億6,319万円



国による、小学校の「学校給食費の抜本的な負担軽減」を通じ、子育て支援に取り組む。食材費の高騰が続くことを見据え、令和8年度2学期からの給食費改定を検討するものの、改定額の一部を本市が支援し家計負担の軽減を図る。

【**小学校**への支援額】本市支援（1学期：月1,100円（※） 2・3学期：月550円（※））
 +国・県支援（抜本的負担軽減：月5,200円）（※：現時点の見込み）

	1人あたり 保護者負担額(概算)
① 令和7年度	約5,500円
② 令和8年度 (国・県・市支援前)	約6,600円
③ 令和8年度 (国・県5,200円支援後)	約1,400円
④ 令和8年度1学期 【本市支援後】	約300円（※1） (本市は値上げ幅の全額支援)
⑤ 令和8年度2・3学期 【本市支援後】	約850円（※2） (本市は値上げ幅の1/2支援)



※1：③約1,400円－値上げ幅（②約6,600円－①約5,500円）

※2：④約300円＋値上げ幅（②約6,600円－①約5,500円）×1/2

I 市民生活を支援

〈物価高騰対策〉

学校給食の安定的な提供と家計負担の軽減

～学校給食費支援事業費～



事業費：7,527万円 財源：重点支援交付金

中学校及び幼稚園給食について、食材費の高騰が続くことを見据え、令和8年度2学期からの給食費改定を検討するものの、改定額の全額を本市が支援し家計負担の軽減を図る。

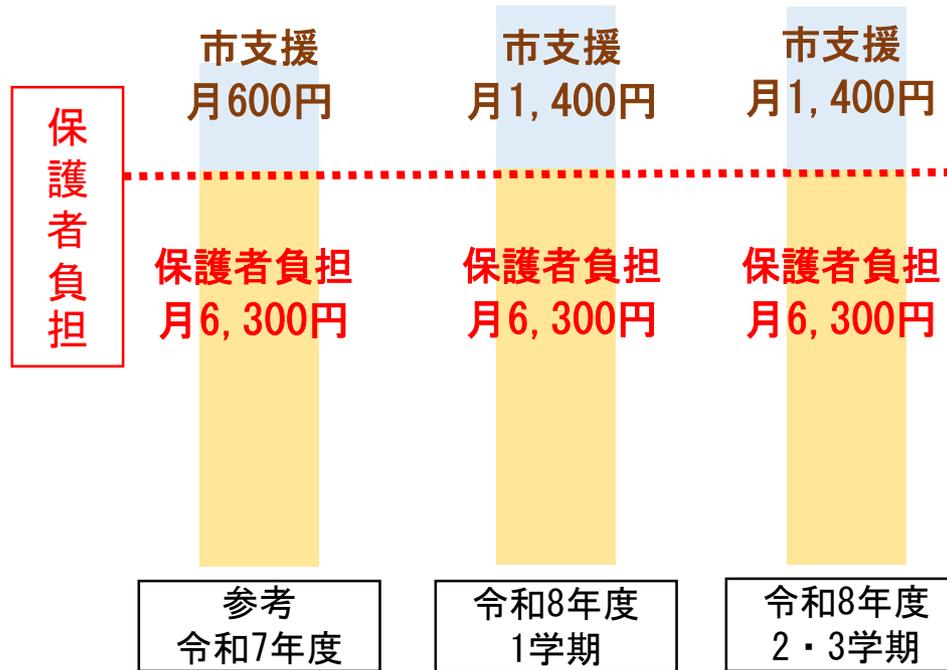
【中学校・幼稚園への支援額】

○給食費改定額の全額支援

- ・中学校 月1,400円（現時点見込）
- ・幼稚園 月 900円（現時点見込）

	中学校	幼稚園
	1人あたりの 保護者負担額(概算)	1人あたりの 保護者負担額(概算)
令和7年度	月6,300円	月5,100円
令和8年度 (本市支援前)	月7,700円	月6,000円
令和8年度 【本市支援後】	月6,300円 (令和7年度を維持)	月5,100円 (令和7年度を維持)

中学校の場合



I 市民生活を支援

〈物価高騰対策〉

保育所等での給食の安定的な提供と家計負担の軽減

～保育所等給食用食材費補助事業費～



事業費：6,124万円、財源：重点支援交付金

保育所等給食用食材費の上昇分について補助を行い、給食の質の維持を図るとともに、給食費の上昇を抑制することで家計負担の軽減を図る。

○私立保育所等を対象に、食材費の物価上昇に対する補助を実施

【補助対象】私立保育所・認定こども園・幼稚園等 計72施設 5,608人/月

【児童1人あたり補助額】 **910円/月**

(令和7年度補助額：米価上昇分として3歳未満児 524円/月、3歳以上児 656円/月)

(令和6年度補助額：食材費上昇分として661円/月)

【対象期間】令和8年4月～令和9年3月



＜参考＞

公立保育所等では物価高騰を踏まえ、実質、月額200円の値上げ

(令和8年4月から、給食費月額300円の値上げを行うが、令和8年度は月額100円を軽減)

月額	現行	①改定後	②軽減額	軽減後(①-②)
週6日利用の場合	6,200円	6,500円	100円	6,400円

II 地域の事業者を支援

〈物価高騰対策〉

III しごとづくり

〈農林水産業振興〉

スマート農業の推進

～松江スマート農業推進事業費～



事業費：885万円、財源：重点支援交付金275万円

「松江市農山漁村地域活性化基本計画」に基づき、スマート農業を推進し農業の効率化・省力化を図るとともに持続可能な地域農業の実現を目指す。

新 GNSS（測位衛星システム）基地局整備への支援

【概要】スマート農業機械（自動操舵トラクタ等）の本格的な活用のためのGNSS基地局設置経費を補助（10/10）

【事業費】275万円（重点支援交付金充当）

【補助対象者（設置者）】松江地域農業再生協議会

【基地局イメージ及び概要】



自動操舵トラクタ等

（出典：農林水産省）

衛星だけでは30cm
～数mの誤差あり

人工衛星

基地局

基準局の補正情報により
誤差±2～3cmに高精度化



設置場所…玉湯支所

対象範囲…設置場所から半径20km以内（無人農機は10km以内）

利用対象者…市内農家

利用開始時期…令和8年7月頃（予定）

導入支援補助金

継続

【概要】スマート農業に必要な機械・施設・設備などの導入経費を補助

【事業費】600万円

【補助対象者】

認定農業者、認定新規就農者、
地域計画に位置付けられた農業者等

【補助率】1/2（上限75万円）

【実績】20件・1,066万円（R元～7見込）

併せて個別指導を実施

【対象者】集落営農組織等

【実施方法】スマート農業機械の使用
方法や効率化の方法を個別に指導

Ⅲ しごとづくり

〈産業振興、起業・創業〉 〈観光振興〉

アメリカ誘客促進・スタートアップ連携の事業化促進



新

～アフター万博海外観光誘客促進事業費、海外産業連携推進事業費～

事業費：1,335万円、財源：国511万円

本市がインバウンドの重点市場と位置づけるアメリカのうち、日本への送客割合が高い西海岸・ロサンゼルスを訪れ、インバウンド観光誘客の促進を図る。

シリコンバレーを再訪し、本市における起業・創業や新ビジネスの事業化につながるビジネス連携・ネットワークの創出を目指す。

アメリカからのインバウンド誘客促進

【訪問先】ロサンゼルス

【訪問時期】令和9年2月（予定）

【実施内容】

現地の旅行会社を対象にトップセールスを実施し、茶の湯文化体験や本市特産品の魅力を紹介する、インバウンド観光セミナーを開催



ニューヨークでの観光セミナー（令和5年7月）

起業・創業、新ビジネスの事業化促進

【訪問先】シリコンバレー

【実施時期】令和9年2月（予定）

【実施内容】

MATSUE起業エコシステム、RubyCityMATSUE 2.0で進める「起業・事業化支援」「海外連携」を加速すべく、令和5年訪問以降の成果を携えてベンチャーキャピタルや支援機関を再訪



シリコンバレー訪問（令和5年7月）

Ⅲ しごとづくり

〈産業振興、起業・創業〉

(仮称) 中尾地区企業団地整備に向けた詳細設計・埋蔵文化財調査等

～ (仮称) 中尾地区企業団地事業費～



事業費：1億3,220万円、財源：市債1億1,010万円、繰入金2,210万円

(仮称) 中尾地区企業団地について、令和9年中の分譲開始を目指し、造成工事に向けた詳細設計、埋蔵文化財調査などを行う。(繰越明許費設定)

- 整備地 下東川津町・上東川津町
- 開発面積 約11ha
- 事業費内訳

詳細設計等	1億1,010万円
埋蔵文化財調査等	2,210万円

○スケジュール

年度	事業内容
令和7年度	用地取得、用地測量・補償算定、基本設計
令和8年度	地区計画策定、詳細設計、埋蔵文化財調査
令和9年中	分譲開始
令和9年度以降	造成工事



Ⅲ しごとづくり

〈商店街活性化〉

「職人商店街」の形成 ～職人商店街創出事業費～



事業費：1,550万円

「職人商店街」の形成に向けて「匠」の技を「観て・体験できる」店舗づくりを支援する。併せて、認証店舗の拡大及び店舗のつながりづくりによる回遊性向上を図る。



観て・体験できる店舗づくり

- 店舗のリノベーション支援 (既存店舗・新規出店) 1,000万円
伝統工芸：上限500万円、現代工芸：上限500万円
- トライアルスペースへのお試し出店支援 60万円

職人商店街の拡大

- 職人商店街認証制度 (2025年創設) の推進
認証店舗数の拡大 ⇒2030年目標：20店舗

中心市街地における回遊性向上

- 賑わいづくり支援 490万円
- ・中心市街地での若者の活動を応援
まちなか学生チャレンジ事業 (例：土曜夜市での学生屋台)
- ・職人商店街をめぐる・楽しむ
デジタルスタンプラリー企画の実施など

Ⅲ しごとづくり

〈農林水産業振興〉

松江大根島牡丹の振興

～松江大根島牡丹振興対策事業費～
(特産物振興対策事業費)

8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
		

事業費：828万円

市花である牡丹の振興のため、生産農家・JA・島根県と連携して生産・消費・販路の拡大に取り組むとともに、新たな担い手の確保を目指す。台湾との牡丹による交流を促進し、販路拡大につなげる。

＜主な事業内容＞

○生産・消費拡大推進及び販路拡大等に係る補助（460万円）

- ・病虫害対策・作付等（実施主体：松江大根島牡丹協議会）
- ・販路拡大・輸出促進（実施主体：JAしまね）
- ・牡丹市場・ニーズ調査事業（実施主体：JAしまね）

○牡丹栽培体験・研修（175万円）

- ・牡丹栽培に関心がある個人や法人へ栽培体験
(令和7年度体験者1名が令和8年度から新規就農予定)
- ・新規就農予定者への研修

○春節前建国花市（台北市）を契機とした交流・販路拡大（152万円）

- ・春節前建国花市に参加（平成19年2月～）
- ・牡丹交流20周年の節目の年に、令和8年4月25日～26日に開催されるぼたん祭（八束町）へ建国花市関係者を招待

※赤字は令和8年度から拡充した取組み



牡丹栽培体験
(令和7年10月)



大根島ぼたん祭
(令和6年4月)



春節前建国花市(令和5年1月)

〈農林水産業振興〉

〈安心・安全、社会資本整備〉

緊急銃猟と捕獲有害鳥獣減容化の検討



【新】～緊急銃猟事業費、捕獲有害鳥獣減容化施設整備事業費～
(有害鳥獣被害対策事業費) 事業費：348万円、財源：国73万円

有害鳥獣（イノシシ等）の処分時の負担軽減を図るため、地元企業と協力し、適切な処理方法を検討する。鳥獣保護管理法の改正に伴い、生活圏内に侵入したクマ等に対する緊急銃猟の準備を行う。

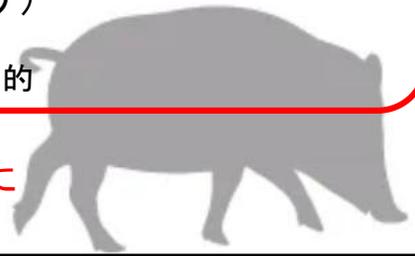
捕獲有害鳥獣減容化施設整備事業費

【概要】
現在の捕獲後埋設処理は、猟友会会員の高齢化、捕獲頭数の増加に伴い、負担が増大
官民連携により新たな処理方法を検討・実証

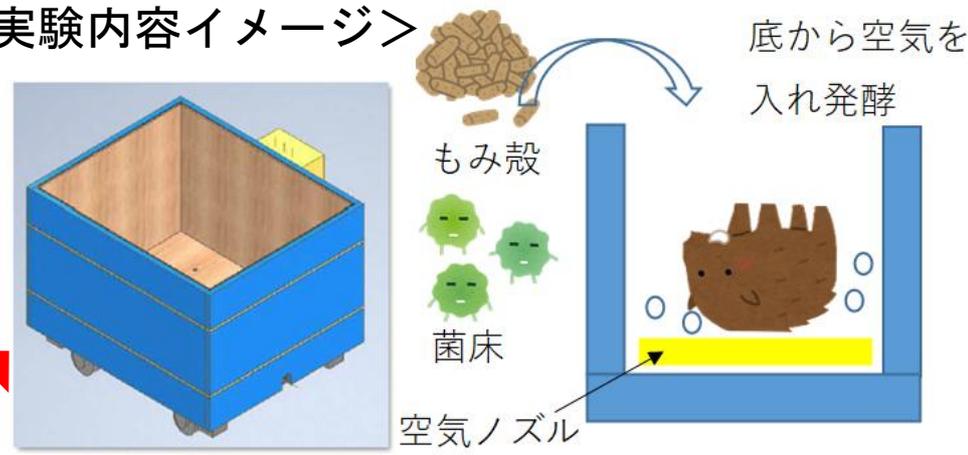
【事業費】255万円

【実証実験内容】
イノシシの死骸にもみ殻等を加え、好気発酵※を行うことで、処理効率・悪臭の有無等を検証（実績のある地元企業の協力あり）
※酸素を利用した微生物による発酵
高温で分解が進み悪臭が少なく衛生的

【参考】
イノシシ捕獲頭数 10年で約2倍に
(H27：667頭→R6：1,567頭)



＜実験内容イメージ＞



緊急銃猟事業費

【概要】
実施条件を満たした場合にクマ等の銃猟を捕獲者に委託し対応できるように準備

【事業費】93万円（消耗品費、委託料等）



Ⅲ しごとづくり

〈観光振興〉

「MATSUE観光戦略プラン」の実現

～宿泊税活用事業費ほか7事業～

事業費：4億5,767万円、財源：宿泊税3億360万円、国6,857万円ほか



「MATSUE観光戦略プラン」の実現に向け、令和7年12月に導入した宿泊税を最大限活用し、持続可能な「国際文化観光都市・松江」の発展を目指す。

① マーケティング・プロモーション 拡充

事業費1億3,550万円 (宿泊税1億2,775万円)

- 松江に行きたくなるブランドイメージの構築、認知の拡大
- 旅行者の興味や最新トレンドにフィットする魅力的な観光プラン・体験メニューの開発
- 各地域の魅力を最大限活用した誘客戦略

② オフシーズン対策 拡充

事業費4,000万円 (宿泊税4,000万円)

- 観光客が減少する冬季・梅雨時期・平日の閑散期対策 (宿泊割引クーポンの発行、冬季観光資源の開発)

③ 観光推進組織づくり 拡充

事業費7,500万円 (宿泊税6,500万円)

- マーケティング実施体制の確立、専門人材の雇用等による(一社)松江観光協会の組織体制強化

④ 満足度向上・魅力づくり事業 拡充

事業費1億8,852万円 (宿泊税5,220万円)

- デジタルマップの作成
- 電動シェアサイクルの運営
- 夜の松江・魅力発信事業 【P34に再掲載あり】
- ドラマを活用した観光振興 【P35に再掲載あり】
- 大型バス受入駐車場整備 (美保関)

⑤ 松江市観光振興基金 新

事業費1,500万円 (宿泊税1,500万円)

- 自然災害や感染症のまん延などによる観光産業への影響に備えるための基金創設

⑥ 特別徴収義務者への補助 新

事業費365万円 (宿泊税365万円)

- 特別徴収事務交付金
- 宿泊税制度普及促進補助金

III しごとづくり

〈観光振興〉

松江が誇る歴史と癒しのコンテンツのプロモーション強化



～城下町・水の都魅力発信事業費、松江水燈路事業費、嫁ヶ島活用事業費～
事業費：8,500万円 財源：国4,250万円、宿泊税850万円

「MATSUE観光戦略プラン」のコンセプトに基づき、「城下町」「水の都」など本市の特長・魅力にスポットを当てた誘客事業を展開するとともに、宿泊につながるナイトタイムエコノミーの充実を図る。

国宝松江城を活用した誘客促進 【事業費：4,250万円（宿泊税850万円）】

城下町・水の都の魅力活用 【事業費：4,250万円】

- 夜の松江・魅力発信事業《夏～秋》**再掲** 2,950万円
 新 松江城内をプロジェクションマッピングや体験型ライティングなどで演出するとともに、SNS等を活用して誘客につながる情報を発信（宿泊税活用）
- 国宝松江城ライブ《春または夏》 1,300万円
 人気アーティストによる松江城ライブの開催支援

- 松江水燈路 2,200万円
 市民手づくり行灯やアーティスト作品の企画展示
- 桜と武者のシーズン2026 1,000万円
 桜木のライトアップなどで松江城を演出
- 武者のまちの発信 710万円
 松江城やJR松江駅での武者によるおもてなし
- 湖畔の賑わい創出 340万円
 水辺のイベント開催支援



松江城ライトアップ
 (イメージ)

GACHI SPECIAL in 国宝
 松江城 (令和6年3月)



Ⅲ しごとづくり

〈観光振興〉

小泉八雲・セツのドラマを活用した観光振興 再掲

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



17 ハートナッシュで
目標を達成しよう



～小泉八雲・セツのドラマをイカしてバケる松江推進事業費～

事業費：3,300万円、財源：国1,500万円、宿泊税1,500万円

「ばけばけ」の誘客効果を持続的に取り込むため、ドラマ終了後もプロモーションやイベント等を継続実施し、本市への誘客促進を図る。

魅力発信の強化及び市民機運の醸成

拡充 【事業費：2,800万円（宿泊税1,250万円）】

- 誘客プロモーション 2,186万円
誘客イベント開催、メディア等によるPR、PRツール製作など
- イベント開催支援補助 300万円
小泉八雲をテーマとしたイベント等開催の支援
【補助率】10/10（上限30万円） 【件数】10件
- ばけフェスin土曜夜市 等イベント開催 150万円
- ラッピングバス運行 73万円 ほか



誘客イベント
(令和7年 熊本)



ばけフェスin土曜夜市
(令和7年9月)



松江市営バスラッピング

ドラマの世界観による誘客促進及び周遊促進

新 【事業費：500万円（宿泊税250万円）】

- ドラマセットの再現展示 など 500万円
- 【時期】 令和8年5月中旬オープン（予定）
- 【会場】 松江市役所本庁1階多目的スペース
- 【内容】
 - ・ドラマセット・衣装・小道具の展示
 - ・等身大パネルの展示
 - ・関連イベントの実施 など



「ばけばけ」展（イメージ）



小泉八雲とセツが出会ったまち 松江

Ⅲ しごとづくり

〈観光振興〉

「松江」をテーマとするフランス観光誘客イベント 『24時間小説』の開催支援



新 ～インバウンド観光推進事業費～

事業費：656万円、財源：諸収入300万円

芥川賞作家やフランスの主要文学賞受賞作家が集い、「松江」をテーマに小説を執筆するイベント『24時間小説』の開催を支援することで、国内外における「松江」の認知度向上を図るとともに、本市が重点市場とするフランスからの観光誘客につなげる。

【実施内容】

○各作家における小説の執筆支援（事業費：452万円）

日本の芥川賞作家やフランスの有力な文学賞(Goncourt)受賞作家ら計12名が、JR京都駅発「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」で旅しながら「松江」をテーマに1章ずつリレー方式で小説を執筆

○市民向けイベントの開催（事業費：204万円）

本小説に触れる機会を創出するブックフェア、講演会、小説の書き方ワークショップを開催



12名の作家は、本イベントを通じた来場者とのふれあいや、松江での滞在から得たインスピレーションをもとに小説の構想を練る

【開催時期】

令和8年10月（予定）

「24時間小説」とは…

- ・ 著名な作家が24時間かけて旅をしながら、小説を共同執筆する企画
- ・ 平成27年10月にカナダで初めて開催
- ・ 今回が第2回目かつ日本で初開催



TWILIGHT EXPRESS 瑞風

IV ひとづくり

〈ワーク・ライフ・バランス、子育て支援〉

子育て支援事業における第2子以降の利用料負担の軽減

新 ～一時預かり事業ほか～



事業費：31万円

子育て支援事業をきょうだいで同時に利用した場合、2人目以降の児童にかかる保護者の利用料を半額とし、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。

■ 一時預かり事業

保育所等に入所していない就学前児童について、家庭で保育できない場合の一時預かり

【1人1日あたりの利用料】
 1人目： 650円～1,600円
 2人目以降： 330円～ 800円

■ 子育て短期支援事業

保護者のさまざまな事情により家庭で養育できない児童（0歳～小学6年生）について、宿泊を伴う一時預かり

【1人1日あたりの利用料】
 1人目： 1,600円～3,800円
 2人目以降： 800円～1,900円



■ 病児保育事業

病気または病気回復期の児童（0歳～小学6年生）について、集団保育が困難な期間の一時預かり

【1人1日あたりの利用料】
 1人目： 1,600円
 2人目以降： 800円

令和8年4月～ 預かる年齢（現在は小学3年生まで）を拡大
 ・ 小学6年生まで拡大 ⇒松江市立病院・融合乳児園
 ・ 小学4年生まで拡大 ⇒松江赤十字乳児院

※ 利用料・減免額は利用する児童の年齢・保護者の所得等により異なる場合あり
減額対象はおやつ代等の実費を除く

IV ひとづくり

〈ワーク・ライフ・バランス、子育て支援〉

産後ケア事業の推進

～産前・産後ケア推進事業費～
 (乳幼児健診事業費)

事業費：5,119万円、財源：国1/2、県1/4ほか



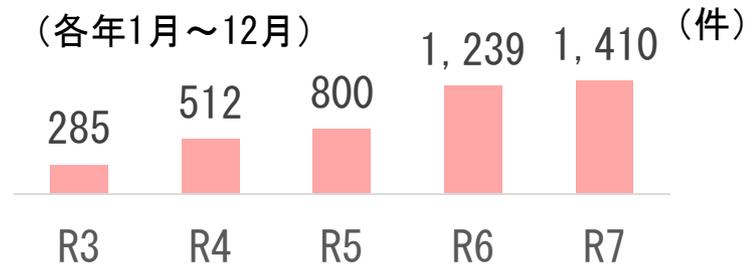
年々利用者が増えている「通所型産後ケア」の提供施設を増やし、利用ニーズに対応することで、より安心して子どもを産み育てられる環境を整える。

通所型産後ケアの概要

- 【対象】産後1年未満のママと赤ちゃん
- 【内容】助産師による心身のケアや育児相談
- 【利用料】7時間:2,000円、3時間:1,000円
- 【利用回数】訪問型と合わせて7回まで(1回の出産につき)
- 【実施施設】**10施設** ← 令和8年度に2施設増!

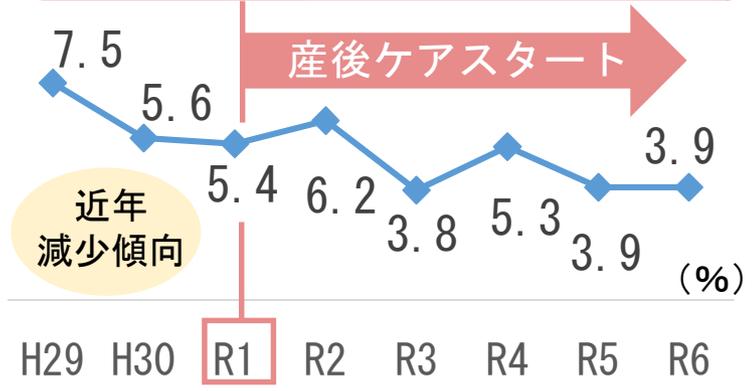


通所型産後ケア延利用件数



産後うつ傾向の母親の割合

(赤ちゃん訪問時のアンケートより)



その他の産後ケア

引き続き充実!

- 訪問型産後ケア：助産師が訪問し自宅でケアを受ける
- 宿泊型産後ケア：施設に宿泊しケアを受ける
- 温泉型産後ケア：ホテル・旅館でケアを受けた後、食事と温泉でリフレッシュ
- 集団型産後ケア：ママ同士で情報交換できる



IV ひとづくり

〈ワーク・ライフ・バランス、子育て支援〉

乳幼児集団健康診査の利便性向上

新 ～乳幼児健診問診票等デジタル化事業費～
(保健衛生管理費)



事業費：1,499万円、財源：国1/2

乳幼児集団健診についてシステム化を図ることで、スマホでの日時変更や問診票(アンケート用紙含む)の記入を可能にし、子育て世帯の利便性向上を図る。

受診者の声

「問診票の記入に手間がかかる」
「平日の日中に健診の日程変更を
電話連絡する時間がとれない」



デジタル化の効果

ウェブサイトから「いつでも」「どこでも」問診の回答や健診予定日を変更できる

問診票の紛失リスクがない

指定した月齢になると健診受診のお知らせが届き、**受診忘れのリスクが減る**

問診票(アンケート含む)等の内容がデータ化されるため、本市の**データ入力業務を削減**できる

対象の乳幼児健診

4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診
※いずれも集団健診

システム利用の流れ

健診日時と**システム**の**アカウント**が記載された案内文を本市から自宅にお届け

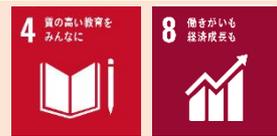
アカウント登録後、受診者のアドレスに届く「ID」で**ログイン**

問診項目(アンケート)を**スマホ**や**PC**で**入力**し、本市に送信
健診日時の変更を希望する場合は、システムのアカウントにログインし、空いている日時を指定し変更

IV ひとづくり

〈教育〉

中学校部活動の地域展開の推進



新

～部活動地域展開推進事業費～
(部活動地域展開推進事業費)

事業費：405万円、財源：国1/3、県1/3

少子化が進む中、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障し、学校における教員の働き方改革を推進するため、中学校部活動の地域展開に向けた体制整備を図る。



現状【地域連携】

より専門的な指導と、教職員の負担軽減のため、各地域の部活動指導員や部活動地域指導者を配置
(令和7年度配置数：14校・51名)

計画・目標【～令和13年度】

【計画】

- ①モデルとなる学校・地域等の選定
 - ②地域クラブの認定制度等の検討 など
- ※モデル事業を実施し成果・課題等を検証する中で具体的なスケジュールを組み立てる

【目標】

原則として、休日のすべての学校部活動を地域クラブ活動へ展開
(令和7年度市立中学部活動数：156部)

令和8年度取組み【地域展開】事業費405万円

- 中学校部活動の地域展開を円滑に推進
- コーディネータ（1名）の配置（384万円）
 - ・学校や関係団体の現状・課題等の調査
 - ・児童・生徒・保護者・地域へ向けた情報発信
 - ・モデル事業の準備
 - 部活動地域展開推進協議会の設置（21万円）
 - ・地域クラブ活動の運営のあり方検討
 - ・その他調査・研究



※地域展開とは
生徒のスポーツ・文化芸術活動を学校部活動から地域クラブ活動に展開すること

IV ひとづくり

〈教育〉

電子図書館システム導入による読書バリアフリー対応と青少年への読書普及



新 ～電子図書館運営費～
(図書館運営費)

事業費：923万円、財源：国1/2

電子図書館システムの導入により、読書の選択肢を増やし、すべての人が本を楽しめる環境を整備する。

電子図書館システム

・ **電子書籍をウェブ上で貸し出す図書館サービス**
予約、貸出、返却をウェブ上で実施

・ **いつでもどこでも利用できる**

インターネットに接続したスマートフォン、タブレット、PC等で24時間365日利用可能

・ **読書バリアフリー**

図書館への来館が難しい方に加えて、音声読み上げや文字サイズ拡大、白黒反転等の機能※により、高齢者や視覚に障がいのある方も図書館サービスを利用しやすくなる

(※) 非対応のコンテンツもあります



電子図書館
サービス

1,500冊程度の
電子書籍

〈スケジュール〉

令和8年8月(予定) 市立図書館における市民サービスの開始

令和9年度以降 市立小・中・義務教育学校におけるGIGAスクール端末での活用



IV ひとづくり

〈共生社会・地域コミュニティ〉

民生委員・児童委員への活動支援

～民生児童委員経費～

事業費：5,941万円、財源：国71万円ほか



住民の相談支援や行政との橋渡しの役割を担う民生委員・児童委員の活動を支援する。

全国的な民生委員・児童委員の担い手不足



- ・委員の自己負担経費の軽減
- ・支給する活動費の増額

民生児童委員活動費補助金

事業費 1,527万円

市内の民生委員・児童委員で組織される松江市民生児童委員協議会連合会の活動に対する助成

○自己負担していた 全国組織の会費700円、県組織の会費4,000円、ボランティア保険料350円（委員一人あたり計5,050円）を公費負担に

民生児童委員活動推進事業費

事業費 4,402万円

民生委員・児童委員の活動にかかる実費弁償や、研修にかかる経費

○活動にあたり生じる交通費・連絡調整費への支給額を、委員一人あたり年14,000円増額（委員1人あたり年60,200円⇒74,200円へ変更）

民生児童委員一般事務費

事業費 12万円

民生委員・児童委員の推薦手続きまたは解嘱手続きにかかる経費



V つながりづくり

〈歴史・伝統・文化・芸術〉

ニューオーリンズ市との交流促進

～ニューオーリンズ交流事業費、会議旅費等～
(議会運営費)



事業費：880万円

友好交流都市であるニューオーリンズ市をラフカディオ・ハーンが来訪して150年となるのに合わせて9年ぶりに同市を訪問し、新ニューオーリンズ市長と交流の継続を確認し、さらなる深化を目指す。

【訪問先】ニューオーリンズ市（友好都市提携：平成6年3月26日）

【訪問時期】令和9年2月（予定）

【実施内容】

○ニューオーリンズ新市長との会談

今年1月に就任したヘレナ・ナンシー・モレノ新市長と対談し、友好交流都市の関係を確認するとともに、さらなる交流の深化を企図

○市民団体との交流

ニューオーリンズ市で日米交流を担うニューオーリンズ日本協会を訪問し、市民レベルでの交流促進と持続的な協力関係の構築を企図

○ラフカディオ・ハーン来訪150年に対する講演会

友好都市提携のきっかけとなったラフカディオ・ハーンをテーマにした講演会を開催し、本市の魅力をPR



〈歴史・伝統・文化・芸術〉

重要伝統的建造物群保存地区選定に向けた取組み

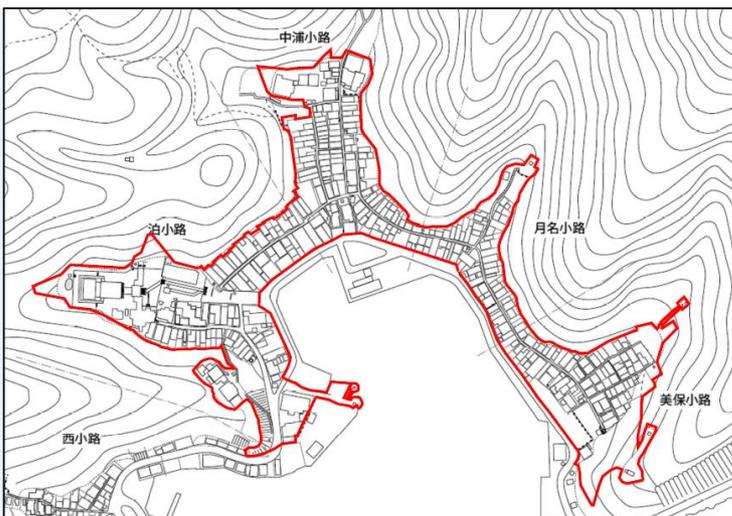
～重要伝統的建造物群保存地区推進事業費ほか1事業～

事業費：943万円、財源：諸収入680万円ほか



美保神社周辺に残る歴史的な町並みについて、国の文化財である「重要伝統的建造物群保存地区」の選定を目指す。地区選定後は国の制度を活用し、町並みの保存・活用整備を行うことで、保存地区の生活・生業を次世代へ継承する。

保存地区の概要



青石畳通り



美保湾

名称：松江市美保関伝統的建造物群保存地区
所在地：松江市美保関町美保関の一部（上図）
面積：約5.9ヘクタール

令和8年度の主な事業

- 記念事業開催：555万円【令和8年9月（予定）】
 - ・ 式典・講演会・歴史的建造物の公開
 - ・ 奉納演奏会（小泉八雲朗読のしらべ）
- 修理設計（モデル事業）：160万円
令和9年度に行う修理工事にかかる設計費の補助
- 空き家再生の支援：50万円
地区の住民団体が行う空き家の片付け・DIYへの補助



〈歴史・伝統・文化・芸術〉

松江が誇る伝統芸能の祭典の開催

～郷土芸能承継発展経費～
(伝統文化振興事業費)

事業費：600万円、財源：基金508万円



佐陀神能のユネスコ無形文化遺産登録15周年を記念し、県外団体を招き合同公演「神座（かむくら）」を開催する。松江市伝統芸能文化保護育成協議会の加盟団体による「松江伝統芸能祭」を同時開催する。

佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録15周年

- ゲスト団体(神楽)の招聘・演舞(1団体)
 - こども佐陀神能教室による演舞
 - 佐陀神能保存会による演舞
- ※開催実績：5周年平成28年度・10周年令和4年度



令和8年度松江伝統芸能祭

- 加盟団体によるステージ公演(6団体)予定
- 松江市鑿行列保存会による鑿叩き体験(屋外)
- 協議会加盟団体の伝統文化紹介パネル・体験
- 飲食ブース

※2年に1回開催
※その他の伝統
芸能団体への
活動助成費を
含む



- 開催時期：令和9年3月（予定）
- 開催場所：さんびる文化センタープラバホール（予定）
- 主催：松江市、「佐陀神能」ユネスコ無形文化遺産登録記念事業実行委員会、松江伝統芸能祭実行委員会、松江市伝統芸能文化保護育成協議会

V つながりづくり 〈スポーツ〉

島根かみあり国スポ・全スポ開催に向けた取組み



新

～島根かみあり国スポ・全スポ事業費、
島根かみあり国スポ・全スポ整備事業費～ 事業費：7,532万円、財源：国559万円ほか

令和12年(2030年)に島根県で開催される「第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会」に向けて、必要な整備等を行う。

準備委員会への負担金 事業費346万円

【負担金内訳】
・大会視察・PR活動 等 346万円

競技会場の整備 事業費7,186万円

【整備内容】
・鹿島総合体育館…吊天井、LED改修工事設計 3,931万円
・松江市営野球場…ラバーフェンス等改修設計、空調設置工事 等 2,561万円
・松江市営庭球場…人工芝張替改修設計 等 694万円



鹿島総合体育館



松江市営野球場



松江市営庭球場

島根かみあり国スポ・全スポの概要

- スローガン：「自分を超えろ、神話をつくれ」
- 準備組織：松江市準備委員会（令和8年1月設立）
- 松江市開催予定競技：
国スポ13競技（水泳、テニス、ボクシングほか10競技）
全スポ 6競技（水泳、卓球・サウンドテーブルテニスほか4競技）
- スケジュール
令和 9年度 大会開催・会期の正式決定
令和11年度 リハーサル大会開催
令和12年度 大会開催

自分を超えろ、神話をつくれ

島根かみあり国スポ・全スポ

第84回国民スポーツ大会 2030 第29回全国障害者スポーツ大会

VI どだいづくり

〈健康・医療〉

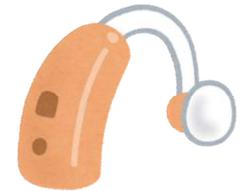


補聴器購入費用にかかる助成制度の創設

新 ～軽度・中等度難聴者補聴器購入費助成事業費ほか1事業～
 (生活支援事業費) 事業費：279万円 財源：国253万円

身体障がい者手帳の対象とならない軽度・中等度難聴者の補聴器購入費の一部を助成し、補聴器の利用を促進する。

年齢区分	18歳以上65歳未満 事業費：26万円	65歳以上 事業費（介護保険事業特別会計）：253万円
助成内容	<p>25,000円</p> <p>※50,000円以上の補聴器購入に限る ※修理や交付決定前の購入は対象外</p>	
対象要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師により補聴器の使用が必要と認められる方（いずれかの耳若しくは両耳の聴力レベルが30dB以上） ・ 市民税非課税世帯または生活保護受給世帯 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師により補聴器の使用が必要と認められる方（いずれかの耳若しくは両耳の聴力レベルが30dB以上） ・ 市民税非課税世帯または生活保護受給世帯 ・ 本市や地域包括支援センターから案内する介護予防事業等に参加できる方 ・ 介護認定なし～要支援2までの方



※令和8～10年度の3年間を試行期間とし、令和11年度以降は実績を評価のうえ判断

VI どだいづくり

〈健康・医療〉

訪問診療に取り組む病院・診療所支援

新 ～条件不利地域訪問診療支援事業費～



事業費：870万円、財源：県3/4

在宅医療の確保と在宅療養生活の継続を目的に、条件不利地域への訪問診療に取り組む病院・診療所を支援する。

【条件不利地域】

訪問診療を行う病院または診療所から自動車を利用して片道30分以上を要する地域、かつ島根県医師確保計画で設定されている「**医師少数スポット**」の該当地域

医師少数スポット（市内9地域）

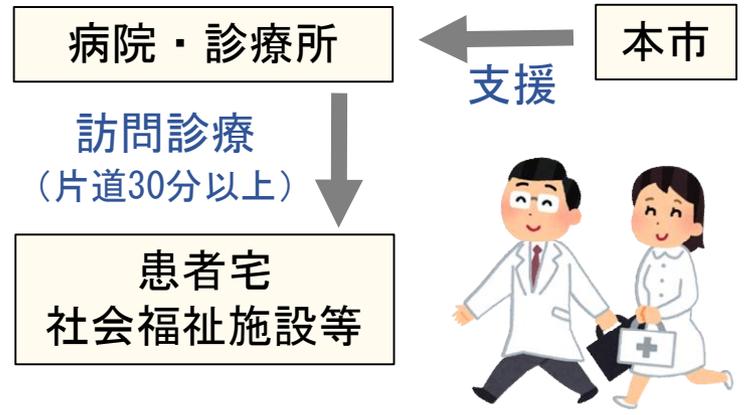
本庄、秋鹿、大野、忌部、鹿島、島根、美保関、八雲、八束

○支援内容

条件不利地域へ訪問診療を行うことで生じる逸失利益※に対する一部補助

※移動時間を要し、訪問患者数が減少したことによる診療報酬の減収

○支援額 訪問診療1回あたり4,000円



VI どだいづくり

〈自然・環境〉

「国際文化観光都市・松江」の脱炭素化による魅力的なまちづくり

～脱炭素先行地域推進事業費～

事業費：3億6,666万円、財源：国3億6,288万円ほか



「地域脱炭素移行・再エネ推進事業計画（令和5～9年度）」に基づき、民間事業者と行政が一体となって、他地域に先行し環境負荷低減に向けた取組みを実施する。

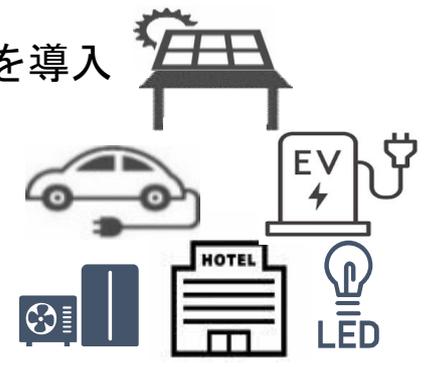
令和5～7年度の取組み内容



堀川遊覧船の電動化 公民館へEV車配置 ソーラーカーポート設置 高効率給湯器の導入

令和8年度の取組み内容

- ・市有遊休地にオフサイトPPAにより太陽光発電設備を導入
- ・宿泊施設にソーラーカーポートを導入
- ・旅館の照明をLED化と高効率給湯器の導入
- ・松江しんじ湖温泉エリアにおけるEVシェアリング
（官民連携・令和7年度から継続）



世界から選ばれる観光地
持続可能な観光の実現



国宝松江城・周辺

松江しんじ湖温泉

玉造温泉

美保関観光旅館

VI どだいづくり

〈自然・環境〉

安定的なごみ処理・CO₂削減のための施設改良



新 ～エコクリーン松江基幹的設備改良事業費（継続費）～

事業費：8,247万円、財源：国2,110万円、市債5,910万円

エコクリーン松江は稼働から15年が経過し、基幹的設備の老朽化が進んでいるため、改良工事により施設の機能維持とCO₂排出量の削減を図り、安定的な稼働を確保する。

○継続費設定額 105億2,593万円（期間：令和8～12年度）

【財源】循環型社会形成推進交付金 26億8,202万円
市債 67億3,270万円

○CO₂削減率（予定）5.7%（環境省の交付要件3%以上を達成）

CO₂排出削減量 863 t-CO₂/年（推定値）
コークス費用削減効果 400万円/年（参考値）
売電収入増加効果 700万円/年（参考値）

○スケジュール

内容	時期
本契約締結	令和8年6月末
基幹的設備改良工事	令和8年7月～13年3月末

※工事期間中に、市民の皆様のごみの分別・収集への影響はありません

【主な改良設備】

- 溶融炉設備
- 焼却設備
- 排ガス処理設備
- 受入設備
- 他設備更新

※耐用年数：概ね10～15年



エコクリーン松江（鹿島町上講武）

VI どだいづくり

〈自然・環境〉

公共施設の脱炭素化推進

～道路照明灯LED化事業費ほか16事業～



事業費：3億9,830万円、財源：市債2億9,280万円ほか

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、市道や公共施設の照明のLED化、電気自動車の更新により、省エネルギー化を進める。



【照明設備のLED化対象施設】

対象施設	数量	事業費	市債	一般財源
道路照明灯	130基	6,000万円	5,850万円	150万円
保育所、幼稚園	5施設	5,180万円	4,660万円	520万円
公園照明灯	30基	1,890万円	1,700万円	190万円
その他（漁港、港湾、小・中学校等）	25施設	2億6,205万円	1億6,580万円	4,296万円
合計		3億9,275万円	2億8,790万円	5,156万円

【LED化による効果】

道路照明灯の水銀灯⇒LEDにより、約17千円/基・年の電気代削減
 水銀灯の残り灯数520基の全てを変更する場合、約8,840千円/年の電気代節約

【電気自動車の更新】

数量	事業費	市債	一般財源
EV車 2台	555万円	490万円	65万円



VI どだいづくり

〈都市デザイン（水辺・公共交通）〉

共同運行の開始に合わせた「共通通学定期」の新規導入・バス停看板の美化化



新 ～通学フリー共通通学定期支援事業補助金ほか1事業～
(バス運行事業費)

事業費：3,313万円、財源：国125万円

令和8年4月の一畑バス・松江市交通局の2社局による共同運行開始に合わせて、路線バスの利便性を向上するとともに、バス停など利用環境の整備を行う。

まつえ通学フリーパス(共通通学定期券)の導入
事業費：3,064万円

共同運行路線のバス停看板デザインの共通化
事業費：249万円

【概要】

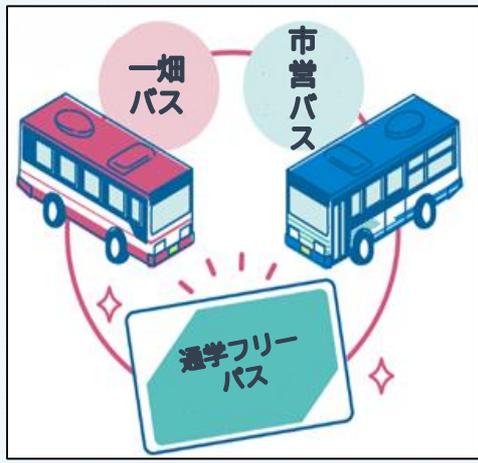
- ・2社局の路線を乗り放題で利用できる、お得な「まつえ通学フリーパス(共通通学定期券)」の販売を開始
- ・子育て世代の経済的負担軽減と利便性の向上によりバス利用を促進

【定期券代】

中学生以上 7,000円/月
小学生以下 3,500円/月

【導入時期】

令和8年4月
(発行可能日は利用開始日の14日前)



【概要】

- ・共同運行路線のバス停の停車時刻表を一元化
- ・共同運行路線であると一目で分かるよう、バス停看板を美化化

【対象区間】 八雲～川津（77箇所）

路線バス運行予定時刻表

行先番号	24市営バス・一畑バス	21市営バス・一畑バス
行先	県合同庁舎前	大庭・八雲
経由	相生町・古志原	相生町・古志原
6		
7	▲市 15 35	▲畑 30 ▲畑 50
8	▲市 00 15 35 45	畑 20
9	畑 20	市 00
10	畑 20	畑 00



時刻表一元化（イメージ）

バス停美化化（イメージ）

VI どだいづくり

〈都市デザイン（水辺・公共交通）〉

交通結節点における乗り継ぎ環境の整備・バス停上屋等の機能向上



新 ～地域公共交通再構築事業費～
(総合交通体系推進事業費)

事業費：3,192万円、財源：国1,596万円

路線バス・コミュニティバスの路線再編にあわせて、交通結節点となる「川津バス停」の乗り継ぎ環境を整備するとともに、老朽化したバス停の待合機能の向上を図り、公共交通で出かけたくなるまちづくりを目指す。

①乗り継ぎ環境の整備（川津バス停）

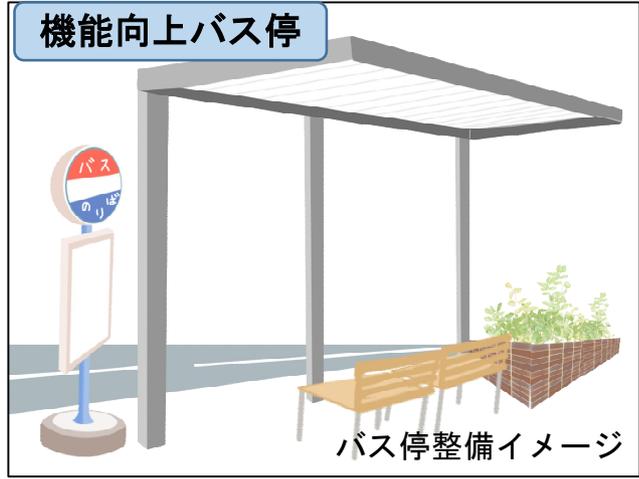
事業費：917万円
期間：令和8年度（設計）、令和9年度（工事）
概要：郊外部と中心市街地の交通結節点となる川津バス停の待合所の上屋・トイレ・駐輪場を整備・更新



川津バス停

②バス停の機能向上

事業費：2,275万円
期間：令和8～10年度（各年4基・3ヶ年で12基整備）
概要：老朽化したバス停の上屋やベンチの整備・更新、多言語表示の導入



機能向上バス停

バス停整備イメージ

VI どだいづくり

〈都市デザイン（水辺・公共交通）〉

DX・GXによる持続可能な公共交通の基盤構築



新 ～自動運転実証事業費～
(総合交通体系推進事業費)

事業費：2億5,013万円、財源：国2億円

令和7年度に続き実証実験に取り組み、検証を重ねながら早期の本格運行を目指す。

● 自動運転バス導入のねらい

<p>1 公共交通の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動運転による省人化 捻出した運転士を郊外部路線に再配置し全体充実化を図る 	<p>2 おでかけ需要の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> 国宝松江城等を経由することで、観光需要にも対応 中心市街地の周遊を促進 	<p>3 まちの魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> DX・GXの観点から、先駆的な取り組みにチャレンジするまち
--	--	---

● 事業内容

- 自動運転実証実験に係る委託費：2億5,000万円
- 先進地視察に係る旅費：13万円



令和7年度試乗会の様子(2025.10～12)
総務省 令和7年度地域社会DX推進パッケージ事業(自動運転レベル4検証タイプ)のモデル地域に選定

● バス走行ルート(予定)

4.3km/周回



● ロードマップ

令和8年度【実証】

- 自動運転レベル4認可に向けた走行データの取得
- 試乗会の開催(利用者ニーズの把握)

令和9年度【レベル4認可取得】

- 1路線で自動運転レベル4認可取得を目指す

本格運行

【自動運転レベル4】
道路交通法が定める特定自動運行を指し、運転者がいない状態での自動運転

VI どだいづくり

〈都市デザイン（まちなみ・公園）〉

魅力的な、利用しやすい公園のための再整備

～松江湖畔公園再整備事業費ほか3事業～

事業費：3億6,209万円、財源：市債2億950万円ほか



松江湖畔公園、揖屋ふれあい広場、美保関総合運動公園、宍道総合公園の4公園について、それぞれの個性を活かした利活用が可能となるよう、計画的に再整備を行う。

松江湖畔公園再整備事業 事業費：1億4,104万円



完成イメージ（設計の詳細は検討中）
資料提供：国土交通省出雲河川事務所（松江市により一部加工）

- 工事期間：令和7～9年度
- 総事業費：約2億4,000万円
- 主な事業内容：芝生広場、ちゃぷちゃぷ広場の整備 等

揖屋ふれあい広場（南広場）代替公園整備事業 事業費：1億2,578万円



完成イメージ（設計の詳細は検討中）

- 工事期間：令和8～9年度
- 総事業費：約3億1,000万円
- 主な事業内容：バスケットゴール、駐車場整備 等

美保関総合運動公園再整備事業 事業費：8,010万円

- 工事期間：令和8～12年度
- 総事業費：約3億2,000万円
- 主な事業内容：駐車場増設 等

宍道総合公園再整備事業 事業費：1,517万円

- 工事期間：令和9～12年度
- 総事業費：約3億7,500万円
- 主な事業内容：詳細設計

VI どだいづくり

〈安心・安全、社会資本整備〉

新庁舎本館全体供用開始・第3期建設工事

～新庁舎第3期建設事業費（継続費）ほか5事業～

事業費：11億2,293万円、財源：市債7億7,060万円ほか



令和7年10月に着手した車庫文書庫棟建設工事と、令和8年7月着手・令和9年5月完了予定の別館解体他工事を行う。

○車庫文書庫棟建設工事経費 4億1,419万円（継続費）

内容：既存建物の解体、車庫文書庫棟の建設
財源：市債 3億1,030万円、基金 1億389万円
（令和7～8年度総額）6億8,795万円の最終年度

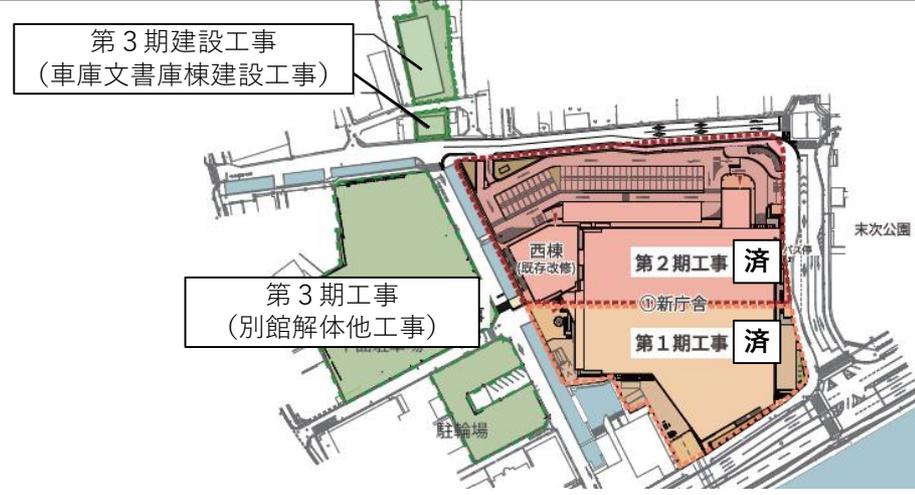
○別館解体他工事経費 6億1,028万円（継続費）

内容：既存建物の解体、自転車置場等の設置
財源：市債 4億5,770万円、基金 1億5,258万円
（令和8～9年度総額）6億7,320万円の初年度

○新庁舎オフィス環境等整備事業経費等 9,846万円

内容：移転業務委託、工事損害事後調査業務委託、
庁舎利活用運営管理業務委託 等
財源：市債 260万円、基金 9,586万円

新庁舎建設工事区分



今後の予定（令和8年）

2月24日	コンビニエンスストア（生活彩家）開店
5月中旬	カフェオープン
5月16日	新庁舎オープニングセレモニー（竣工式典）
5月17日	新庁舎オープニングイベント（市民とともに創るマルシェ等を中心としたイベント）
12月	車庫・文書庫運用開始

VI どだいづくり

〈安心・安全、社会資本整備〉

安心・安全なまちづくりのための社会資本整備

～道路・河川整備事業費～

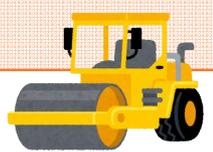


事業費：29億4,613万円、財源：下記参照

安心・安全なまちづくりのため、自然災害に強く、社会生活を守り豊かにする社会資本の整備を推進する。



事業内容	事業費	国・県	市債	その他	一般財源
主要道路・河川整備	15億9,974万円	5億41万円	10億5,030万円	814万円	4,089万円
生活関連道路・河川整備	4億1,568万円	70万円	3億8,970万円	—	2,528万円
交通安全施設整備（交差点改良等）	6,500万円	—	5,850万円	—	650万円
通学路等の歩道整備	1億8,216万円	8,644万円	8,940万円	—	632万円
道路・橋りょう等点検・長寿命化	6億2,355万円	3億3,745万円	2億1,160万円	—	7,450万円
道路照明灯のLED化【再掲】	6,000万円	—	5,850万円	—	150万円
合 計	29億4,613万円	9億2,500万円	18億5,800万円	814万円	1億5,499万円



VI どだいづくり

〈安心・安全、社会資本整備〉

消防車両の計画的な整備



～車両整備事業費（常備消防）、消防車両・ポンプ整備事業費（非常備消防）～

事業費：2億7,440万円（うち、債務負担行為設定額：1億400万円）、財源：市債2億7,300万円

火災や頻発する自然災害、高齢化に伴い増大する救急出動など、高まる市民の防災需要に対応するため、消防車両の更新を計画的に進め、安心して住み続けられる災害に強いまちづくりを推進する。

車両	配置場所	用途	事業費	納車予定
水槽車	北消防署 (学園南)	10トンの水を積載し、山間部や高規格道路等の水利確保が困難な現場に出動	1億 400万円	令和10年3月 (債務負担行為設定)
北部1警防隊車 (ポンプ車)	北部分署 (西長江町)	高性能のポンプを積載し、消火活動の主力として出動	8,000万円	令和10年3月 (繰越明許費設定)
南救急2号車	南消防署 (矢田町)	高度救命処置用資機材を積載し、救急現場に出動	4,690万円	令和9年3月
小型動力ポンプ付 軽積載車(5台)	市内各所	高い機動性・汎用性を強みに、火災を含む様々な災害時において、各地域での初動対応力を発揮	4,350万円	令和9年3月



水槽車



北部1警防隊車



南救急2号車



小型動力ポンプ付軽積載車

VI どだいづくり

〈安心・安全、社会資本整備〉

避難所に指定されている学校の屋内運動場への空調設備整備

～屋内運動場空調整備事業費～

事業費：1億854万円、財源：国7,000万円、起債3,670万円



災害時の避難所としての機能向上を目的に、市立学校体育館の空調設備を計画的に整備する。地域間のバランスを考慮しながら、各地区の拠点となる中学校・義務教育学校について優先的に整備を進める。

○学校体育館空調整備計画

期 間：令和6～15年度

学校数：中学校・義務教育学校 16校

(整備済：義務教育学校玉湯学園)



義務教育学校玉湯学園（令和7年度施工）

○令和8年度整備校：第三中学校

工事費：9,830万円（設計は令和7年度）

財 源：原子力発電施設等立地地域基盤

整備支援県交付金 7,000万円

市債 2,650万円

(※) 社会体育館のため文部科学省の交付金対象外

完成時期：令和8年度内

【参考】美保関中学校（令和8～9年度整備）

予算時期：令和7年度2月補正（国の補正予算に呼応）

工 事 費：総額6億4,402万円（設計は令和7年度）

工事内容：・屋内運動場の長寿命化（予防改修）

・空調設置 ・照明LED化

完成時期：令和9年度中

VI どだいづくり

〈安心・安全、社会資本整備〉

地域拠点となる公民館の整備

～竹矢公民館整備事業費、竹矢公民館建設・解体事業費（継続費）～

事業費：2億9,923万円、財源：市債2億2,850万円



老朽化する竹矢公民館を建て替え、公民館としての利便性や避難所としての機能の向上を図る。

○施設概要 鉄骨造平屋建て 623.61㎡
※機能向上：非常用電源、防災備蓄倉庫など

○総事業費（令和4～8年度） 5億7,640万円
うち令和8年度 2億9,923万円

○経過及び今後の予定

令和4年度	基本設計 実施設計 地盤調査 埋蔵文化財試掘調査
令和5年度	現地建て替えに計画変更を決定（文化財出土のため）
令和6年度	埋蔵文化財発掘調査 地盤調査 仮設公民館設計 建設・解体設計（令和6年12月～7年5月）
令和7～8年度	建設・解体工事（令和7年10月～9年1月）
令和9年度	供用開始（5月予定）



VI どだいづくり

〈行財政改革、スマート自治体〉

SDGs未来都市の創造

～SDGs推進事業費～



事業費：712万円、財源：基金

SDGsの普及啓発や人材育成に取り組み、「SDGs未来都市」を創造する。

SDGs未来都市計画の改定 (令和8年3月公表予定)

松江市
SDGs未来都市計画
(2023～2025)

SDGsを羅針盤として
「夢を実現できるまち
誇れるまち 松江」
の創造に向けた
意識の醸成・価値観
の共有化

松江市第2期
SDGs未来都市計画
(2026～2030)

松江市版 SDGsマインド
の確立

「SDGs未来都市」創造に向けた令和8年度の取組み

SDGsの普及啓発 事業費：476万円

- 「まつえSDGsフェスティバル」の開催
- 「SDGs出前講座」の開催
【実績】累計24回・1,890名参加 (令和7年1月末時点)
- 「ジュニアSDGsリーダー」の育成
【実績】延べ108名参加 (令和6・7年度)



「地方創生SDGsフェス2026」へのブース出展 事業費：236万円

SDGsの先駆け
万博に出展した「SDGsと響きあう小泉八雲のオープン・マインド」ブースをリニューアルし本市の魅力を広く発信

日程：令和8年9月25日(金)～27日(日)
会場：東京ビッグサイト 主催：内閣府



VI どだいづくり

〈行財政改革、スマート自治体〉

住民情報系システムを国が定める標準仕様に準拠したシステムへ移行
 ～標準準拠システム移行事業費、システム標準化関連事業費～
 （電子市役所推進事業費） 事業費：12億7,442万円、財源：国3億7,215万円

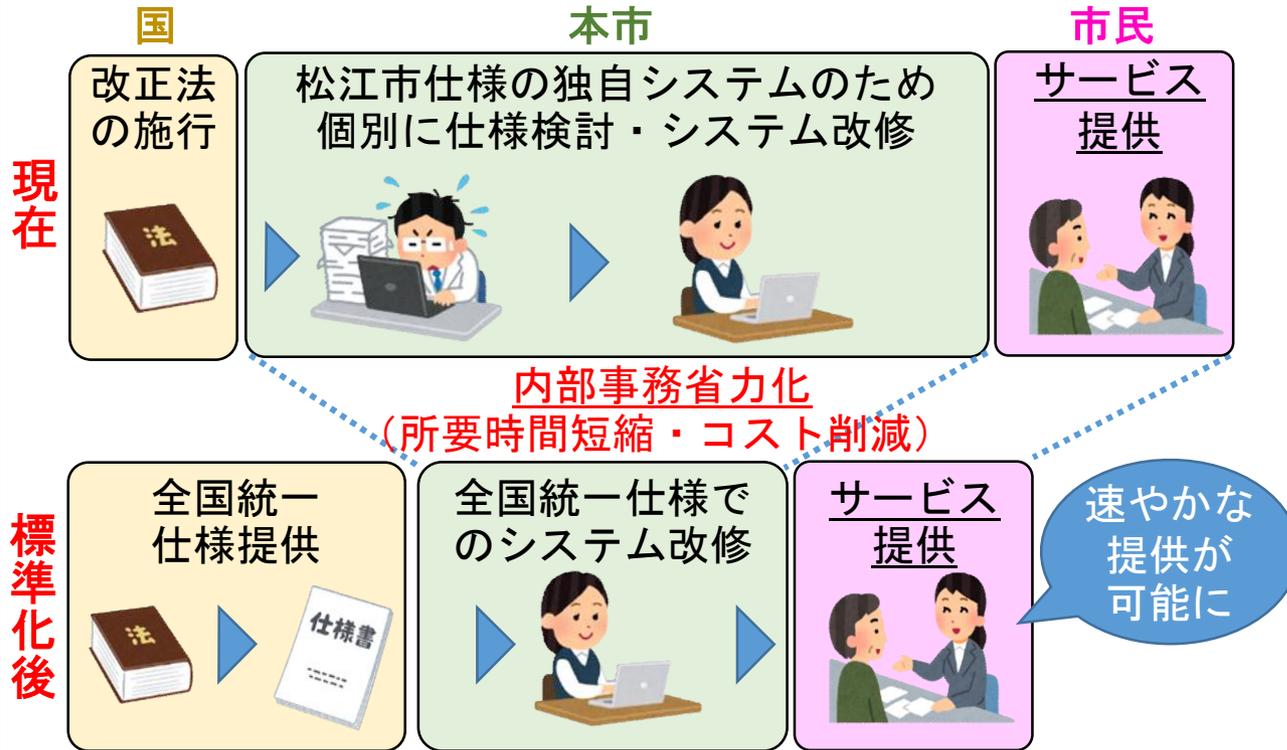


法律や国の基本方針(※)に基づき、住民情報系システムを全国统一仕様の標準準拠システムに移行することで、法制度改正後、速やかに行政サービスを提供する。

(※) 「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」「地方公共団体情報システム標準化基本方針」

○効果（例：法制度改正時の対応）

○標準化対象20業務



住民記録	介護保険
印鑑登録	健康管理
国民年金	戸籍
選挙人名簿	戸籍附票
就学(8年7月稼働予定)	後期高齢者医療
個人住民税	障がい者福祉
法人市民税	生活保護
固定資産税	児童手当
軽自動車税	児童扶養手当
国民健康保険	こども・子育て支援

黄網掛けは令和8年1月移行済、青網掛けは令和8年度着手予定

VI どだいづくり

〈行財政改革、スマート自治体〉

「快適便利な申請手続きを支える」プロジェクト

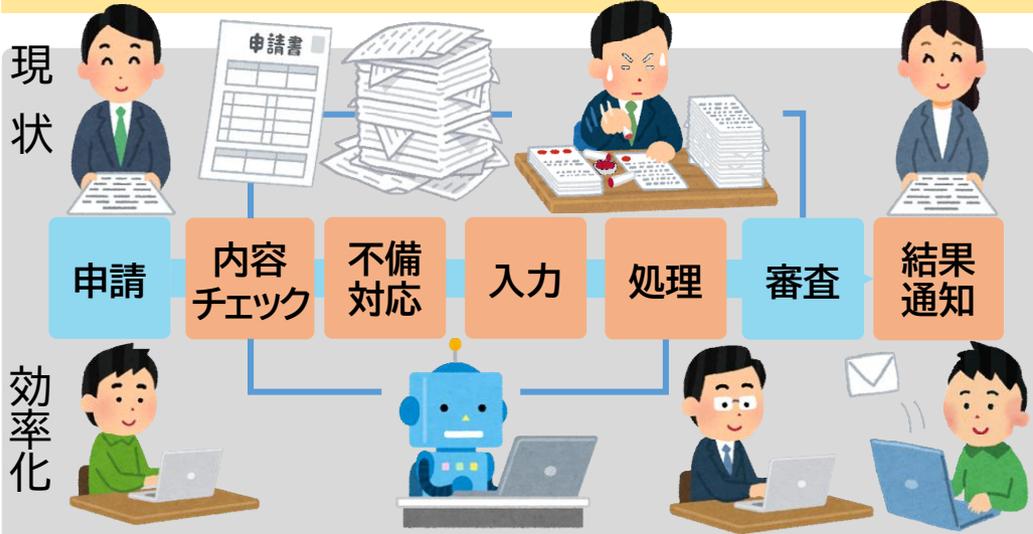
～働き方改革推進事業費～



事業費：2,291万円

窓口で受付を行う申請事務を対象に、オンライン申請の導入や事務処理のデジタル化を推進するとともに、市役所各課で行う定型的な事務処理を集約し効率化を図ることで、持続可能な行政運営と行政サービスの向上を図る。

申請事務の業務効率化イメージ



現状

効率化

要点

- ・ 利用しやすいオンライン申請の導入
- ・ AIやRPAなどデジタル技術で事務を効率化
- ・ 複数課の定型業務を集約

行政サービスの利便性向上への寄与



結果が早く届く！
 問い合わせ時間が短縮！
 相談対応が充実！

これまでの取組み

子育て

保育所入所手続きでオンライン申請・結果のデジタル通知、AI入所選考などを導入

福祉

精神障がい者手帳・自立支援医療(精神通院)手続きでオンライン申請を導入予定

※効率化する対象業務は順次拡大

VI どだいづくり

〈行財政改革、スマート自治体〉

松江市文書館と埋蔵文化財調査センターの一体的整備

～文化財情報発信施設整備事業費（文書館）ほか2事業～



事業費：1億3,224万円、財源：国3,850万円ほか

現・松江市環境センターを改修し、新たに松江市文書館と松江市埋蔵文化財調査センターを整備・併設することで、文献資料と埋蔵文化財を一体的に調査研究・発信する。

松江市文書館の整備

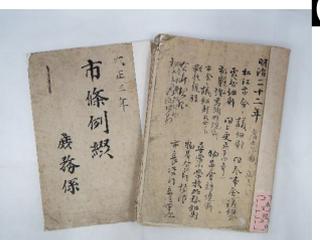
事業費：4,732万円

歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料を収集・保存し、市民の利用に供するための文書館を整備する。

埋蔵文化財調査センターの整備

事業費：8,492万円

考古学の調査、文化財の保存・活用を推進するため、収蔵庫の機能を拡充するなど必要な整備等を行う。



【歴史的資料の例】

明治時代の
本市条例集
明治時代の
商家の写真



【松江市文書館の市民利用】

- 歴史公文書と歴史資料（古文書等）の公開
文書館の所蔵資料（例：松江市役所日誌、商家の古文書）は申請により閲覧可能
- データベースの公開
文書館の所蔵資料は、館内のみならずインターネットを介して検索可能
- 多彩なテーマによる展示室や講座室を設置
松江の歴史・文化に関する情報発信

【これまでの経緯・今後のスケジュール】

- ・平成30年10月 松江市文書館（仮称）整備構想検討開始
- ・令和7年3月 松江市文書館（仮称）基本計画策定
- ・令和8年6月～10月 改修工事（予定）
- ・令和9年3月 松江市文書館開館・記念式典（予定）



VII なかまづくり

〈広域連携〉

中海・宍道湖・大山圏域市長会事業

～中海・宍道湖・大山圏域市長会事業負担金～

8 動きがも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくらう	11 住み続けられる まちづくりを	15 陸の豊かさも 守ろう	17 パートナシップで 目標を達成しよう
--------------	--------------------	-------------------	---------------	----------------------

事業費：3,790万円

圏域5市（松江市・出雲市・米子市・安来市・境港市）と大山圏域7町村が相互に連携し、それぞれの強みとスケールメリットを生かし圏域の発展を図る。【以下主な事業】

◆インド・台湾との経済等交流の促進

【インド交流】 令和7年10月に更新したケララ州との経済交流覚書(MOU)に基づき、事業推進組織を設置し重点分野での成果を目指す

【台湾交流】 令和7年11月に開始した台日産業連携推進オフィス(TJPO)とのスマートソリューション分野における連携を本格化

令和8年度
新規事業

- ①台湾企業・圏域企業が協力し地域課題解決を目指す社会実験の支援(主にインバウンド観光分野から)
- ②台湾人材のインターンシップ受入(予定人数3名)



◆圏域インフラの整備推進

「中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議」「中国横断新幹線(伯備新幹線)整備推進会議」を通じ、圏域交通網整備に向けた要望活動・PR実施

◆圏域への誘客促進

【国内誘客】 「女子旅」につながる人気アニメを活用した周遊、基幹交通機関と連携したプロモーション

【海外誘客】 米子空港への直行便がある台湾・韓国に重点を置くほか、欧米豪の富裕層を最重要ターゲットとして注力



「中海・宍道湖8の字ルート」

令和8年度宿泊税活用事業（詳細版） 事業費 457,666千円（宿泊税 303,600千円）

I マーケティング・プロモーション

事業費 135,500千円（宿泊税 127,750千円）

<p>○マーケティング・ブランディング（協会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「松江と言えば」をワンフレーズ/ワンショットで表現できるイメージの構築、webサイトリニューアル等による世界観の統一 	21,000千円 (21,000千円)
<p>○プロモーション（協会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●インフルエンサーを活用したSNS等の情報発信による国内外へのPR ●インバウンド向けレンタカー補助、運転手付きガイドツアーの商品化、MEQ（マップエンジン最適化）や多言語対応 	61,500千円 (53,750千円)
<p>○エリアマーケティング（協会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●宿泊施設が集積するしんじ湖温泉、玉造温泉、美保関エリアの各魅力を最大限活用した観光戦略 	53,000千円 (53,000千円)

II オフシーズン（閑散期）対策

事業費 40,000千円（宿泊税 40,000千円）

<p>○宿泊割引クーポンの発行（協会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●閑散期（梅雨時季、冬季、平日）に限定した宿泊クーポンの発行による市内宿泊促進 	32,500千円 (32,500千円)
<p>○冬季観光資源の開発（協会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●松江の冬の「食」をテーマにした統一コンセプトの宿泊プラン造成と磨き上げ 	7,500千円 (7,500千円)

III 観光推進組織づくり

事業費 75,000千円（宿泊税 65,000千円）

<p>○マーケティング実施体制（協会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●観光協会のCSO（戦略官）による全体マネジメント、人流データ等の観光動態データ取得 	20,000千円 (10,000千円)
<p>○組織体制強化（協会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●観光協会の専門人材（COO）及び正規職員の雇用経費 	30,000千円 (30,000千円)
<p>○DMO体制強化（協会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●持続可能な観光地経営を実現する先駆的DMOモデルの確立を目指した取り組み（観光地経営戦略策定、必須KPI取得、勉強会等） 	12,000千円 (12,000千円)
<p>○DMOマネジメント強化（協会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市内のリソース（観光資源、人材等）の把握・リスト化、ステークホルダーとの関係性構築 	13,000千円 (13,000千円)

IV 満足度向上・魅力づくり

事業費 188,518千円（宿泊税 52,202千円）

<p>○デジタルマップ作成（協会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●観光地マップのデジタル化による観光客の周遊促進 	7,000千円 (7,000千円)
<p>○電動シェアサイクル運営（市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スマートフォンで予約から決済まで完結できる電動シェアサイクル事業の運営による二次交通課題の解決 	12,036千円 (6,018千円)
<p>○夜の松江・魅力発信事業（市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクションマッピングや体験型ライティング等による松江城内の演出、SNS等によるPR 	P34に再掲載あり 59,600千円 (8,500千円)
<p>○小泉八雲・セツのドラマを活用した観光振興（市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ドラマセットの展示、誘客イベント開催、イベント開催など 	P35に再掲載あり 33,000千円 (15,000千円)
<p>○観光客受入事業（市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ドラマロケ地としての受入対応支援 	11,623千円 (1,500千円)
<p>○観光地エリアの環境整備（市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●美保関駐車場の整備、玉造温泉駐車場の誘導看板設置 	37,259千円 (5,541千円)
<p>○レイクラインバス車両整備（市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市内の主要観光地を巡るレイクラインバスの車両購入 	28,000千円 (8,643千円)

V 緊急時における観光産業への支援

事業費 15,000千円（宿泊税 15,000千円）

<p>○松江市観光振興基金の創設（市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然災害や新たな感染症のまん延など観光産業に影響を与える事態に備えるための基金 	15,000千円 (15,000千円)
--	------------------------

VI 特別徴収義務者への支援

事業費 3,648千円（宿泊税 3,648千円）

<p>○特別徴収事務交付金（市）</p> <p>○宿泊税制度普及促進補助金（市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●宿泊税を徴収する市内宿泊施設に対する補助金 	3,648千円 (3,648千円)
---	----------------------

持続可能な開発目標 (SDGs) の詳細

1 貧困をなくそう



目標 1 (貧困)
あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる

2 飢餓をゼロに



目標 2 (飢餓)
飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する

3 すべての人に健康と福祉を



目標 3 (保健)
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

4 質の高い教育をみんなに



目標 4 (教育)
すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

5 ジェンダー平等を実現しよう



目標 5 (ジェンダー)
ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う

6 安全な水とトイレを世界中に



目標 6 (水・衛生)
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



目標 7 (エネルギー)
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

8 働きがいも経済成長も



目標 8 (経済成長と雇用)
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



目標 9 (インフラ、産業化、イノベーション)
強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

10 人や国の不平等をなくそう



目標 10 (不平等)
国内及び各国家間の不平等を是正する

11 住み続けられるまちづくりを



目標 11 (持続可能な都市)
包摂的な安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する

12 つくる責任 つかう責任



目標 12 (持続可能な消費と生産)
持続可能な消費生産形態を確保する

13 気候変動に具体的な対策を



目標 13 (気候変動)
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

14 海の豊かさを守ろう



目標 14 (海洋資源)
持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

15 陸の豊かさを守ろう



目標 15 (陸上資源)
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

16 平和と公正をすべての人に



目標 16 (平和)
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

17 パートナーシップで目標を達成しよう



目標 17 (実施手段)
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する